

CAM520 Pro

ユーザーマニュアル



連邦通信委員会声明



FCC 注意:コンプライアンスを担当する当事者によって明示的に承認されていない変更や変更は、この機器を操作するユーザーの権限を無効にする可能性があります。

このデバイスは、FCC 規則の第 15 部に準拠しています。

操作には、次の 2 つの条件があります。

- (1) 本装置は有害な干渉を引き起こさない
- (2) この装置は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受け取ったあらゆる干渉を受け入れる必要があります。

警告:

これはクラス A の製品です。国内環境では、この製品は無線干渉を引き起こす可能性があり、その場合、ユーザーは適切な措置を講じる必要があります。

免責事項

明示または黙示のいずれの保証も、本文書の内容、品質、性能、商品性、または特定目的への適合性に関するものではありません。このドキュメントに記載されている情報は、信頼性を慎重にチェックされています。ただし、不正確な責任は負いません。本書に記載されている情報は、予告なく変更されることがあります。

AVer Information Inc.は、そのような損害の可能性を知らされた場合でも、本製品またはドキュメントの使用または使用不能に起因する直接的、間接的、特別、偶発的、または結果的損害に対して責任を負いません。

商標

「AVer」は、AVer インフォメーション社が所有する商標です。記述目的で本明細書に使用されるその他の商標は、各社にのみ帰属します。

著作権

©2020 AVer インフォメーション株式会社すべての権利が予約されています。このオブジェクトのすべての権利は、AVer 情報株式会社に属し、AVer 情報株式会社の事前の書面による許可なしに、任意の形式で複製または送信された AVer 情報株式会社は禁止されています。すべての情報または仕様は、予告なしに変更する場合があります。

通知

本書に記載されている内容および仕様は予告なく変更される場合があります。

警告

- 火災や感電防止のため、この器具を雨や湿気にさらさないで下さい。製品に対して不正な変更が行われた場合、製品の保証は無効となります。
- カメラを落下させるなど、物理衝撃を加えないでください。故障の原因となります。
- カメラの故障を避けるため、正しい電源電圧を使用してください。
- リードやプラグの破損防止のため、配線を踏むような場所に置かないでください。
- カメラの底面を両手で持ち、カメラを動かしてください。カメラ回転部をつかんでカメラを動かすと故障の原因となる場合があります、

電池の安全情報

1. 電池は、涼しく乾燥した場所に保管してください。
2. 使用済み電池をゴミ箱に捨てないでください。特別に承認された処分方法で使用済み電池を適切に処分する。
3. 長期間使用していない場合は、電池を取り外します。電池の液漏れや腐食は、リモコンを損傷する可能性があります。各自治体の処分方法に従い、電池を処分してください。
4. 新しい電池には古い電池を混在させて使用しないでください。
5. 異なるタイプの電池(アルカリ性、標準(炭素亜鉛)、または充電式(ニッケルカドミウム)を混合して使用しないでください。
6. 燃えるゴミで電池を廃棄しないでください。
7. 電池端子を短絡(ショート)させないでください。

目次

パッケージ同梱物	1
製品外観.....	2
カメラ本体	2
DIP スイッチによる HDMI 出力解像度の変更	2
操作リモコン	3
パンとチルト角度	5
機器の設置.....	6
機器の配線.....	6
HDMI 接続	8
RS232 接続.....	9
ウォールマウントの設置	15
ケーブルを固定する	18
カメラの操作.....	19
ビデオ通話をする.....	19
ソフトウェア AVer IP Finder で接続を行う	19
スマートフレーム機能を使用する	21
スマートフレーム機能とは.....	21
2種類のスマートフレーム	21
スマートフレームの使用法	22
WEB 管理画面にログインする.....	23
ライブ画面操作	24
プリセットの設定	25
プリセット位置一覧の表示/非表示	27
カメラ設定	28
スマートフレーム	28
オートフォーカス	28
ホームポジション.....	29

スリープ位置	29
スリープタイマー	29
オンスクリーンメニュー	30
カメラの番号登録	30
画像設定	31
イメージフリップ(映像の上下反転)	31
イメージミラー(映像の左右反転)	31
True WDR	32
周波数	32
ホワイトバランス	33
ノイズリダクション	33
ブライトネス	34
シャープネス	34
彩度	35
RS232 設定	35
ビデオフォーマットの設定	36
IP ストリームの設定	36
フレームレート	37
ビットレート	37
RTSP	38
RTMP	40
ネットワーク設定	41
DHCP	41
静的 IP	41
システム設定	42
言語	42
ファームウェアの更新	43
設定のリセット	44
カメラの再起動	45

パスワードの変更.....	46
SSL 証明書.....	47
日付形式.....	48
時刻形式.....	49
時刻設定.....	50
情報.....	50
AVer PTZApp の使用.....	51
AVer PTZApp をインストールする.....	51
AVer PTZApp の使用.....	51
カメラ番号の設定.....	58
ホットキーコントロール.....	59
パスワードのリセット.....	60
ホーム / スリープ位置.....	61
ADDR / プロトコル/ポーレート.....	61
OpenGL.....	62
OSD セットアップ.....	63
カメラ設定.....	64
スマートフレーム.....	64
WDR.....	64
イメージフリップ(映像の上下反転).....	65
イメージミラー(映像の左右反転).....	65
リモートアクセスの許可.....	66
詳細設定.....	67
オートフォーカス.....	67
ホームポジション.....	67
スリープ時のカメラ位置.....	68
オンスクリーンメニュー.....	68
周波数.....	69
ホワイトバランス.....	69

Noise Reduction.....	70
明るさ	70
シャープネス.....	71
彩度.....	71
RS232 Setting	72
HDMI ビデオフォーマット	72
ネットワーク	73
DHCP	73
静的 IP	73
システム設定.....	74
言語	74
工場出荷時のデフォルトに戻す.....	75
パスワードの変更.....	75
情報.....	76
EZLive のインストール.....	77
AVer EZLive を使用する.....	77

パッケージ同梱物

<p>カメラ本体¹</p>	<p>操作リモコン</p>	<p>電源アダプタ 電源プラグ²</p>	<p>USB ケーブル</p>
			
<p>RS232 ケーブル* (mini DIN 9 to mini DIN8)</p>	<p>HDMI ケーブル*</p>	<p>固定マウント</p>	<p>マウント固定ネジ</p>
			 M4 x 8mm(x2)  1/4"-20 L=7.5mm(x2)
<p>穴あけ参考用紙</p>	<p>クイックガイド</p>	<p>製品保証書</p>	<p>DIP スイッチ 参考シール*</p>
			

● CAM520Pro には下記2つの SKU があります。

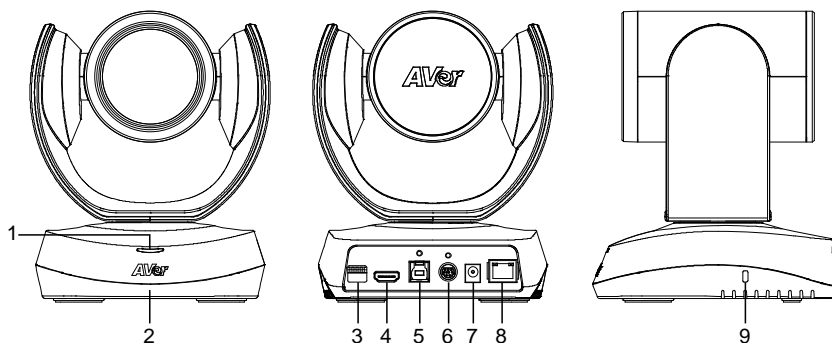
- ① CAM520Pro Basic(USB/LAN のみ)
- ② CAM520Pro Advance(USB/LAN/HDMI/PoE 給電対応)

● 電源プラグは、販売する国や地域によりコンセント形状が異なります。

* 印のある同梱品は CAM520Pro Advance にのみ、同梱されています

製品外観

カメラ本体



- 1 状態表示 LED
- 2 赤外線受光部
- 3 DIP スイッチ¹
- 4 HDMI 端子¹
- 5 USB3.1 TypeB 端子
- 6 RS232 IN/OUT 端子
- 7 電源差込口
- 8 イーサネット端子²
- 9 ケンジントンロック端子

1 CAM520Pro Advance の場合のみサポートします。

2: CAM520 Pro は LAN をサポートしています。CAM520Pro Advance は PoE+(IEEE 802.3AT) をサポートしています。

DIP スイッチによる HDMI 出力解像度の変更

[CAM520Pro Advance のみ]

下図は、HDMI 出力の解像度設定を調整する DIP スイッチの配列を示します。

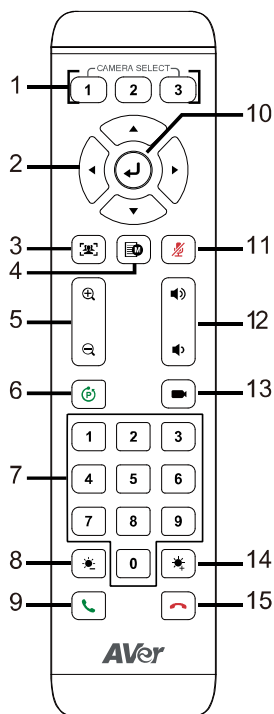
図に従い、使用する解像度の配列にスイッチを操作してください。


The table below is for HDMI output resolution combination.
Please refer to it while using DIP switch on the rear panel of camera.

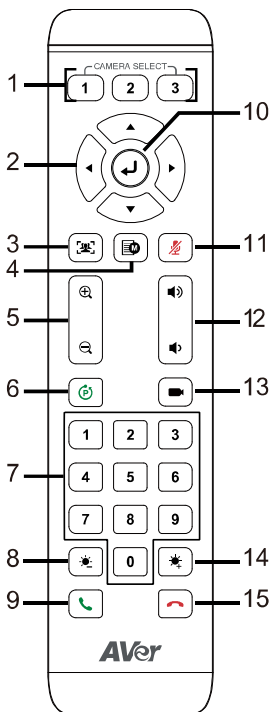
Auto	1080P/60	1080P/30	-	-	720P/60	720P/30	480P/60

※DIP スイッチで解像度を変更した場合 OSD メニューからの解像度を変更する項目は無効になります。

操作リモコン



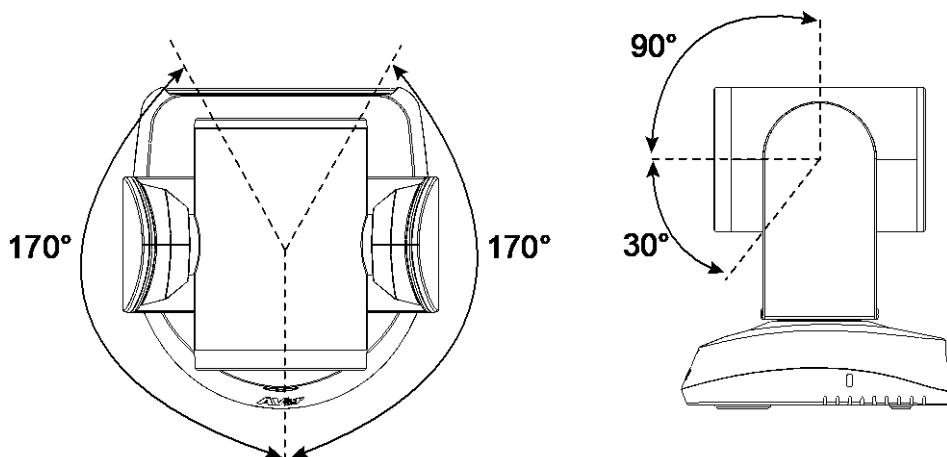
名称	機能		
1. カメラ選択	1 台のリモコンで最大 3 台の AVer 製 USB カメラを制御できます。PTZApp を使用して各カメラに番号を割り当て、リモコンを使用して制御するカメラを選択します。 [注]デフォルトはカメラ 1 に設定されています。		
2. カメラ方向操作	このボタンを使用し、カメラの方向を上下左右に動かすことができます。 長押しの場合、連続で上下または左右にカメラが移動します。		
3. スマートフレーム	ビデオ内の顔を検知し、自動的に画角調整を行います。  リモコンを 2 秒間押し続けると SmartFraming 機能を自動モードと手動モードに切り替え、自動または手動モードを示すメッセージ(図を参照)が画面に表示されます。 <table border="1" data-bbox="677 766 1024 813"><tr><td>Auto Framing</td><td>Manual Framing</td></tr></table> [注]本機能を使用する場合は、顔検出のために正面を向いた状態である必要があります。顔が横の状態では正しく検出することができません。	Auto Framing	Manual Framing
Auto Framing	Manual Framing		
4. OSD メニュー	このボタンは CAM520Pro Advance でのみ使用することができます。 CAM520Pro からテレビモニターへ HDMI 出力を接続している状態でのみ使用できます。		



*機能には AVer PTZApp が必要です
 ** CAM520 Pro では使用しません。

名称	機能
6. ズームイン/ズームアウト	カメラのズームイン・ズームアウト
7. プリセット	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラ位置の保存 プリセットボタンを3秒長押し後、プリセット位置ボタン 0~9 を押下しますと、カメラ位置が登録されます。 ・カメラ位置の呼出 プリセットボタンを押下後、プリセット位置ボタン 0~9 を押下しますと登録済みのカメラ位置が呼び出されます。
8. プリセット数字ボタン	<p>プリセットの位置ボタンは、プリセットボタンと組み合わせて使用します。</p> <p>0~9 の最大 10 個のボタンにカメラ位置を登録することができます。</p> <p>[注]</p> <p>1. 数字ボタン 1 を長押し →WDR 機能のオン/オフ切り替え</p> <p>2. 数字ボタン 5 を長押し →スマートフレーム機能オン/オフ切り替え</p>
9. 明るさ -	ビデオの明るさを下げます。
10. 通話応答*	* CAM520 Pro では使用しません。
11. 決定**	選択/決定を行います。
12. ミュート/ミュート解除**	** CAM520 Pro では使用しません。
13. 音量調整 +/-**	** CAM520 Pro では使用しません。
14. プリセットホットキー	保存済みのカメラ位置を順番に呼出します。
15. 明るさ +	明るさを上げます。
16. 通話終了*	*CAM520 Pro では使用しません。

パンとチルト角度

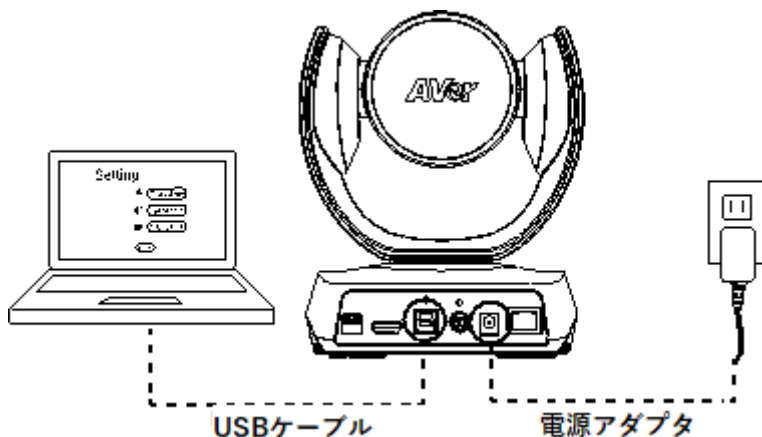


CAM520Proのカメラレンズは左右 340 度、上下 120 度の範囲で可動します。

カメラ操作は付属リモコンまたは PTZApp から行います。

[注意]カメラ稼働時、手動によるカメラ位置の変更はカメラ回転部故障の原因となります。

機器の配線



1. 付属の USB ケーブルを使用し CAM520Pro を PC と接続します。(上図参照)
2. 電源アダプタを CAM520 Pro に接続します。カメラ正面 LED が点灯し、カメラが起動します。
3. 使用する Web 会議アプリケーションのビデオデバイスの設定から CAM520 Pro を選択します。
(ZOOM、Microsoft®Teams、Skype for Business、Skype、Google ハングアウト、Intel®Unite™、RingCentral、BlueJeans、V-Cube、LiveOn、CyberLink UMeeting®、TrueConf、Adobe を実行します 接続、CiscoWebEx®、Fuze、GoToMeeting™、Microsoft®Lync™、Vidyo、vMix、WebRTC、Wirecast、XSplit…など)

※CAM520 Pro を接続する PC には、AVer PTZApp のインストールを推奨します。

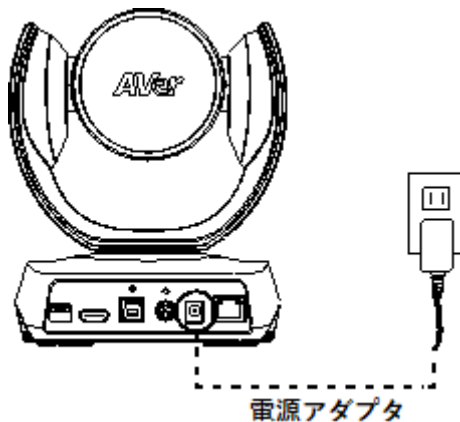
PTZApp では、カメラの各パラメーター調整が可能です。(AVer PTZApp のセクションを参照)

給電方法

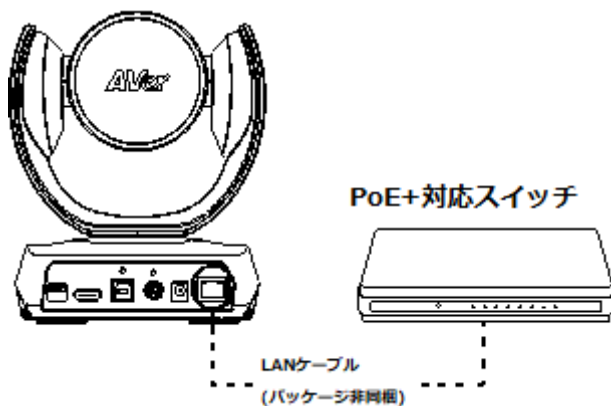
電源は、電源アダプタをコンセントに接続、または PoE+給電により、給電することができます。

※PoE+給電機能はCAM520Pro Advanceでのみサポートされています。

コンセント



PoE+



[注]

安定性を確保するため、CAT 5e LAN ケーブル(製品非同梱)を使用してください。


PoE スイッチハブの場合は、ギガビット PoE スイッチを使用し、安定した電源を確保してください。

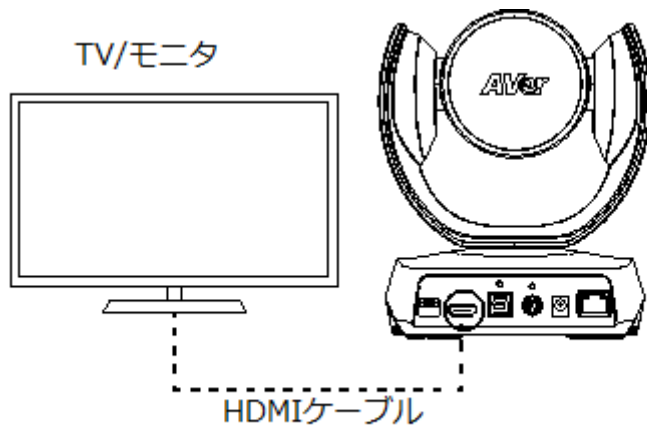
PoE 給電機能は、IEEE 802.3at (PoE Plus) に準拠しています。

HDMI 接続

[HDMI 接続は CAM520Pro Advance のみの機能です。]

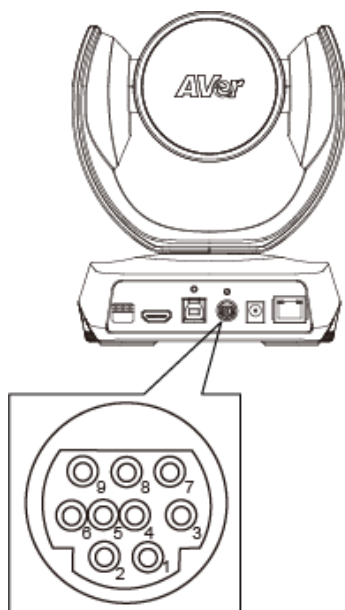
カメラ本体の HDMI 端子とテレビまたはモニターに接続し、カメラ映像を画面に表示します。

 リモコンのボタンを押して OSD メニューを呼び出し、カメラのパラメータを設定します。
OSD 設定については、OSD 操作のセクションを参照してください。



RS232 接続

- カメラ本体 RS232 端子 ピン定義

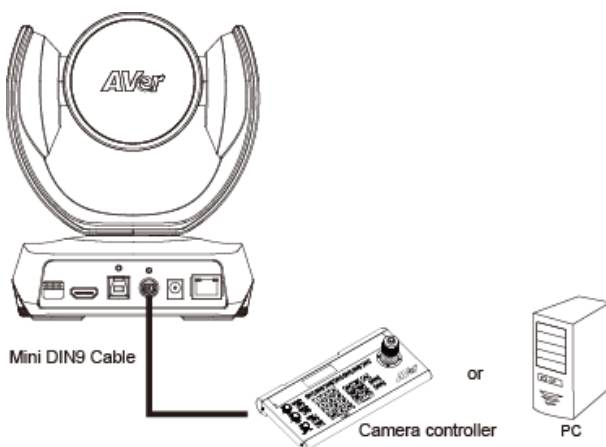


Function	Mini DIN9 PIN #	I/O Type	Signal	Description
VISCA IN	1	Output	DTR	Data Terminal Ready
	2	Input	DSR	Data Set Ready
	3	Output	TXD	Transmit Data
	6	Input	RXD	Receiver Data
VISCA OUT	7	Output	DTR	Data Terminal Ready
	4	Input	DSR	Data Set Ready
	8	Output	TXD	Transmit Data
	9	Input	RXD	Receiver Data
	5	---	---	---

コントローラーとカメラの接続

コントローラーとの直接接続

AVer RS232 アダプタケーブルを使用しない場合、下記のピン接続をご参考ください。

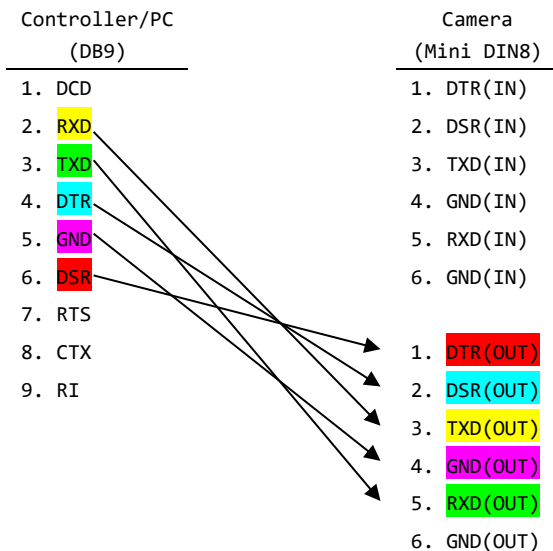
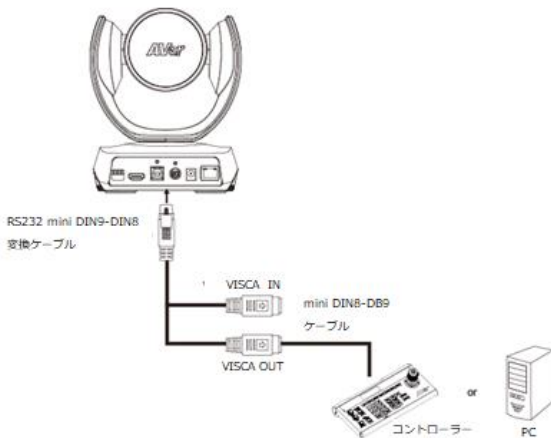


Camera (Mini DIN9)	Controller/PC (DB9)
1. DTR(IN)	1. DCD
2. DSR(IN)	2. RXD
3. TXD(IN)	3. TXD
6. RXD(IN)	4. DTR
7. DTR(OUT)	5. GND
4. DSR(OUT)	6. DSR
8. TXD(OUT)	7. RTS
9. RXD(OUT)	8. CTX
	9. RI

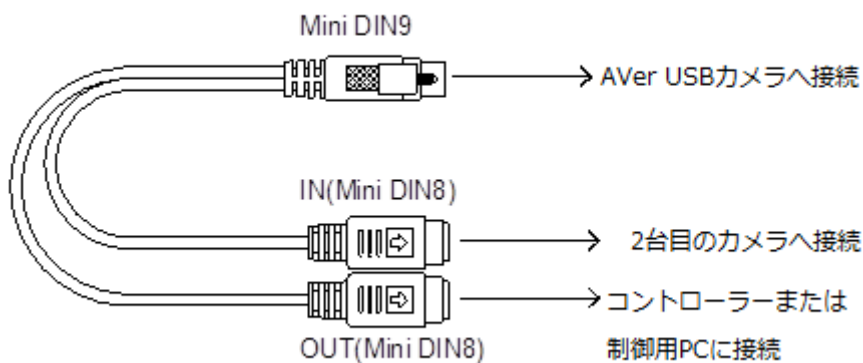
RS232 mini DIN9 を使用してミニ DIN8 ケーブル(CAM520Pro Advance 付・CAM520ProBasic 別売)

コントローラと接続時に RS232 min DIN9・ミニ DIN8 アダプタケーブルをオプションでご購入いただけます。

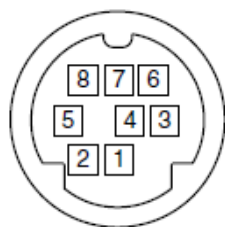
* RS232miniDIN9/miniDIN8 変換アダプタケーブル (PN: 064AOTHERCDC)



■ RS232 mini DIN9 to mini DIN8 ケーブル の接続先



Mini DIN8 ピン定義



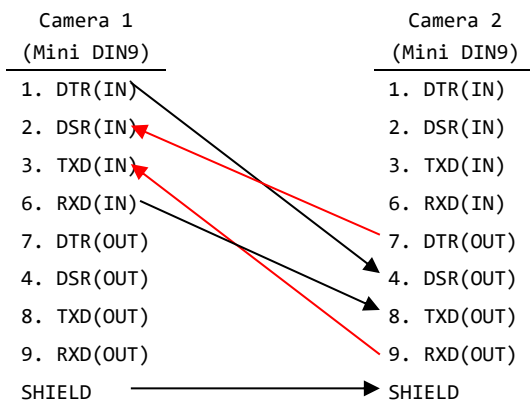
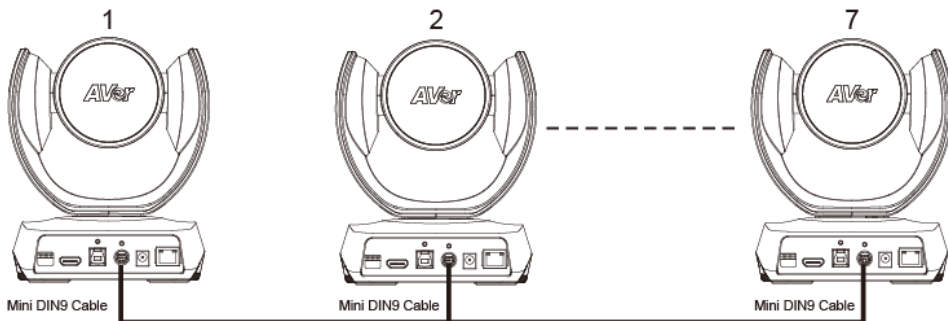
No.	Pin
1	DTR
2	DSR
3	TXD
4	GND
5	RXD
6	GND
7	NC
8	NC

カメラの VISCA カスケード接続

アダプターを使用せず、直接配線する場合

AVerRS232 アダプタ ケーブルを使用しない場合は、カメラのピン接続を参照してください。

合計 7 台までのカメラを接続することができます。



RS232 ミニ DIN・ミニ DIN8 アダプタを使用する場合

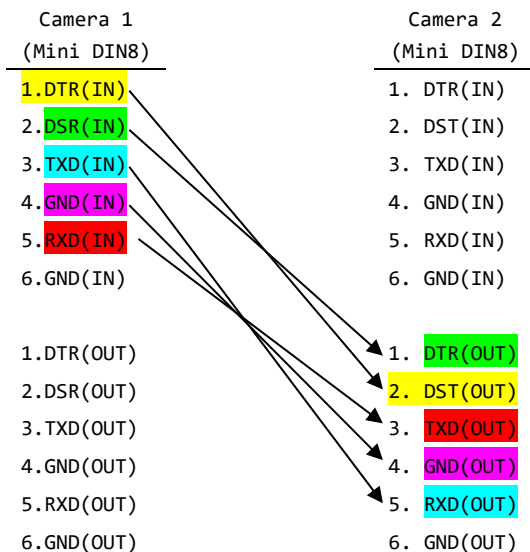
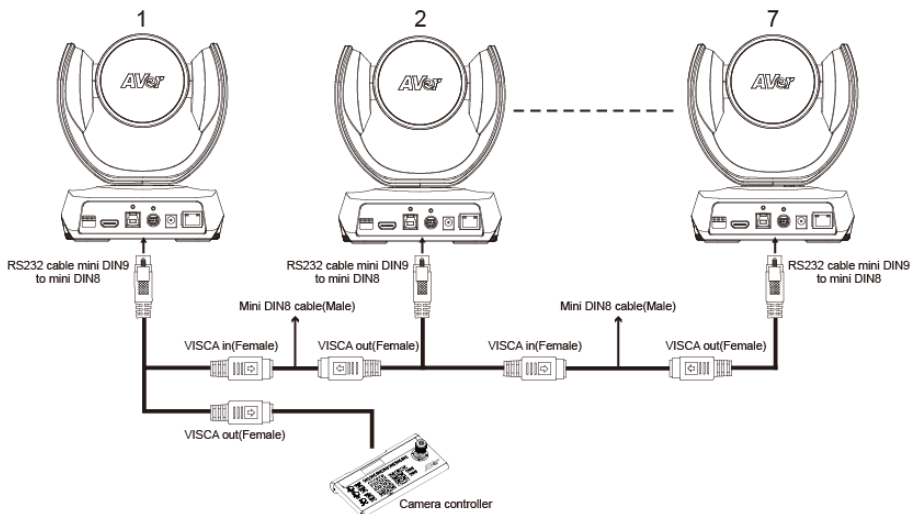
合計 7 台までのカメラを接続することができます。

別売 RS232 アダプタを使用することで、容易にカスケード接続を行うことができます。

AVer ミニ DIN9 とミニ DIN8 アダプタケーブルに接続します。

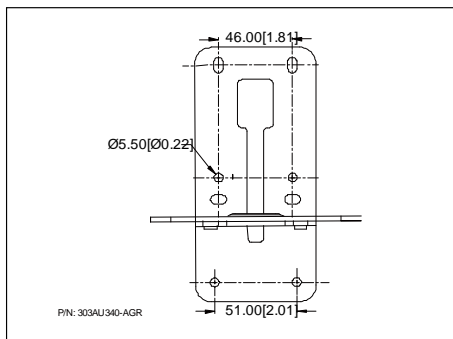
ミニ DIN8 メス側をオス側ミニ DIN8 Visca ケーブルに接続し、

次のカメラに接続するミニ DIN8 アダプタケーブルに AVer ミニ DIN9 をもう一度接続します。



ウォールマウントの設置

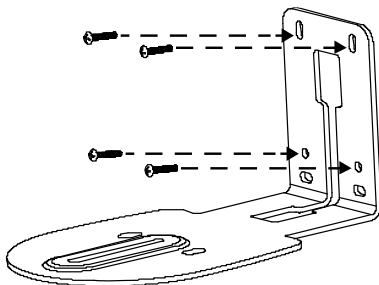
1. パッケージ同梱の穴あけ参考用紙を使用し、カメラを取り付ける壁に穴を開けます。



2. ネジを使用して、**A** 壁の L マウントブラケットを固定します。

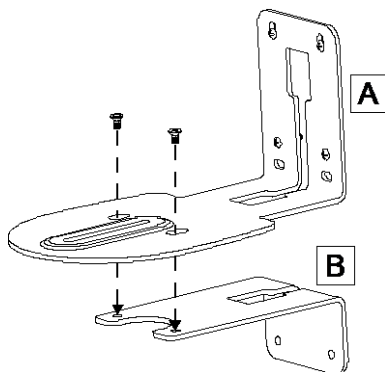
ネジ

1. セメント壁用: M4 x20mm セルフタッピングネジ(x4) + プラスチック製円錐形アンカー
2. 木製の壁用: M4 x20mm セルフタッピングネジ(x4)



1. 次に **A**、+L **B** マウントブラケットをネジ(パッケージに含まれる)で組み立てます。

スクリュー  :M4 x 8mm(x2)

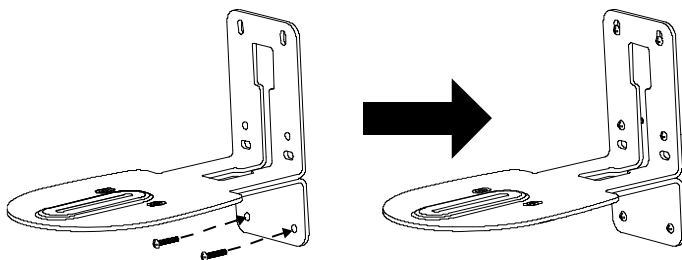


2. L マウントブラケットを組み立てた後、壁の L マウントブラケットの下部を固定します。

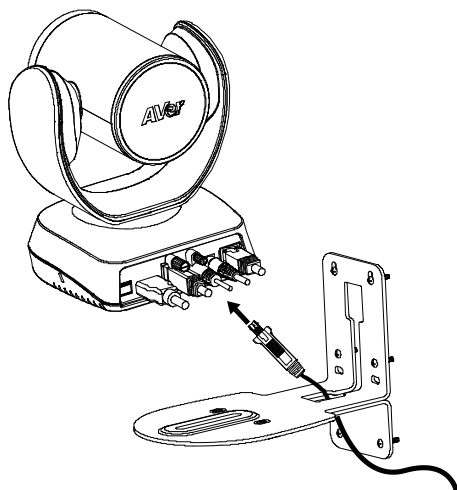
ネジ

1. セメント壁用: M4 x20mm セルフタッピングネジ(x2) + プラスチック製円錐形アンカー


2. 木製の壁用: M4 x20mm セルフタッピングネジ(x2)

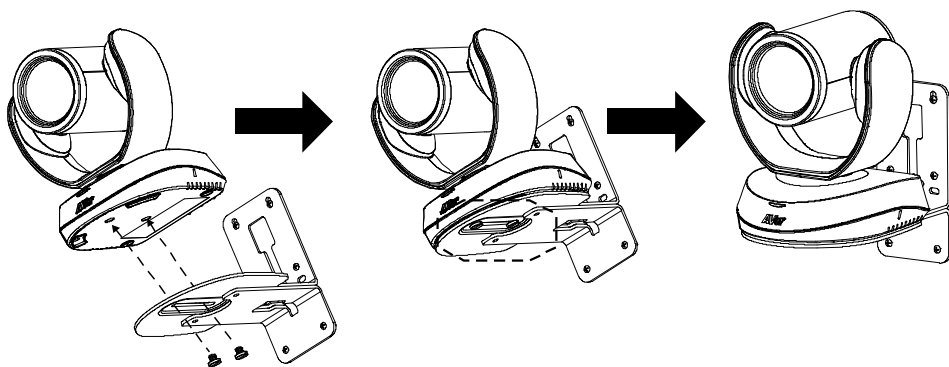


1. ケーブルをLマウントブラケットの穴に通し、ケーブルを接続します。



2. 残りのネジ(パッケージ同梱)を使用して、カメラをLマウントブラケットに固定します。

スクリュー  :1/4"-20 L=7.5mm(x2)

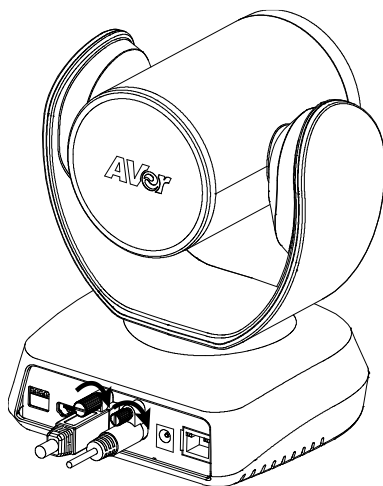


ケーブルを固定する

USB および RS232 ケーブルには、ケーブルを固定するためのネジが付いています。

ケーブルを先に取り付け、ケーブルを固定します。

[注]ケーブルを固定する前に各ケーブルがカメラのコネクタに正しく接続されていることを確認してください。



ビデオ通話をする

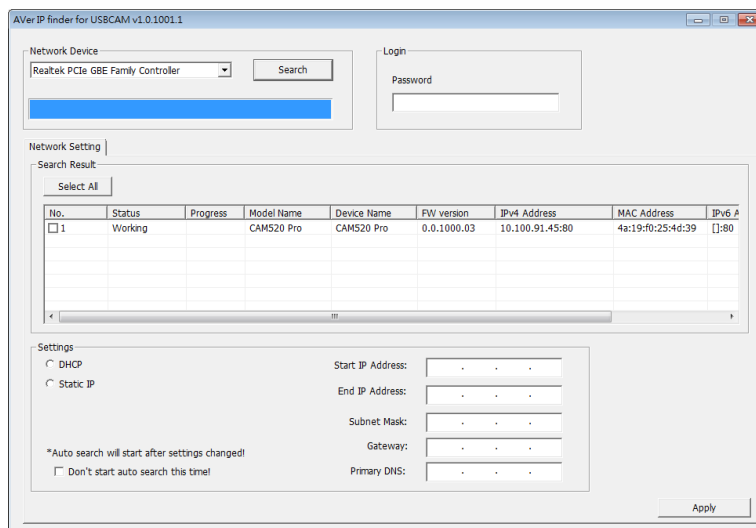
1. CAM520 Pro と PC が正しく接続され、電源がオンの状態であることを確認してください。
2. 使用する Web 会議ソフトウェアを起動します。
3. ソフトウェアのカメラ設定から CAM520Pro を選択します。(各ソフトウェアのゆ)
4. CAM520 Pro はプラグアンドプレイの会議カメラです。特別なドライバは必要ありませんが、AVer PTZApp をインストールすることをお勧めします。AVer PTZApp をインストールして使用する方法については本書の AVer PTZApp セクションを参照してください。

ソフトウェア AVer IP Finder で接続を行う

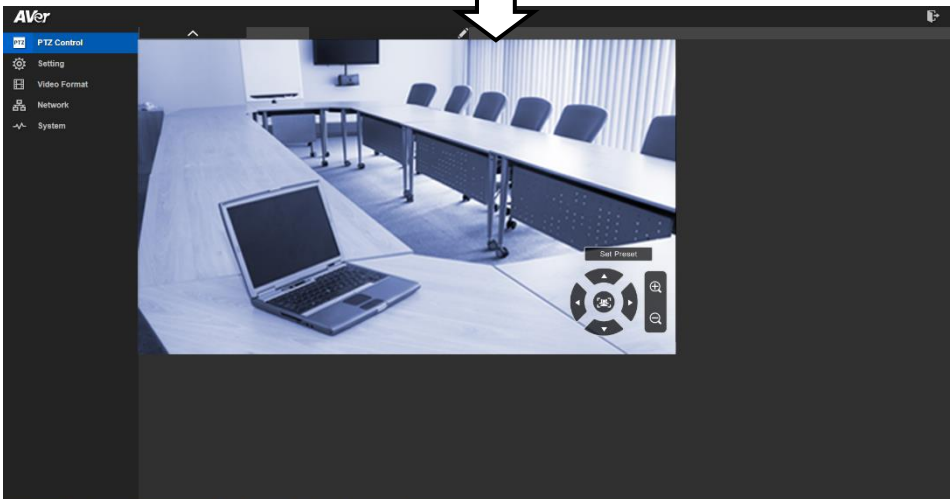
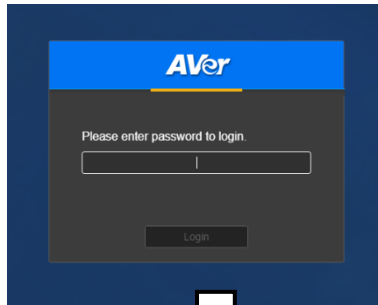
CAM520 Proはイーサネット上での接続をサポートしています。

ソフトウェアAVer IP Finder を使用してカメラを検出・カメラのIP設定を行うことができます。

1. <http://www.aver.com/download-center> から IP Finderをダウンロードします。
2. IP Finderを実行します。
3. [Sarch] をクリックすると、利用可能なすべてのデバイスが画面に一覧で表示されます。



4. 表示されたリストから、設定するカメラを選択し、IPアドレスの入力フィールドを表示します。
5. カメラの IP アドレスを変更するには、“DHCP” または “Static IP” を選択します。
DHCP は、ローカルの動的IPからIPアドレスを取得します。静的IPを使用する場合、利用可能な固定IPアドレスを入力してください。入力後、[適用]をクリックして、カメラに設定を適用します。
※パスワードの項目にパスワードを入力した状態で、[適用]をクリックしてください。
(デフォルトのパスワードは **aver4321**です)。
6. [検索] ボタンをクリックして、カメラを再スキャンします。
7. リストからカメラのIPアドレスをダブルクリックすると、Webブラウザが立ち上がり、ログイン画面が表示されます。
8. Web 設定画面にログインするには、デフォルトのパスワード (**aver4321**) を入力します。
[注] IP Finderがカメラを見つけることができない場合は、次の項目を確認してください。
 1. カメラに接続するLANケーブルがイーサネット接続が可能な状態であることを確認してください。
 2. カメラとPC(IPFinder)が、同じLANセグメント上にあることを確認してください。



スマートフレーム機能を使用する

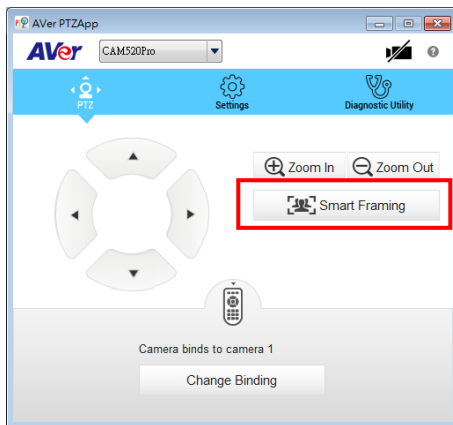
スマートフレーム機能とは

スマートフレームは顔検出技術を使用した FOV 自動調整機能です。



顔検出のため、参加者はカメラに対して顔を正面に向ける必要があります。

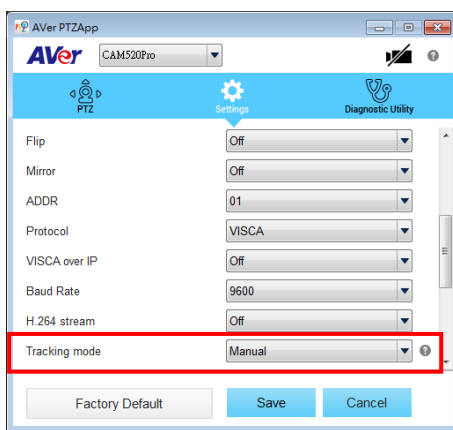
顔が横を向いた状態では検出することができません。

最高のパフォーマンスを得るための有効なカメラと被写体との距離は 4.5メートル以内です。



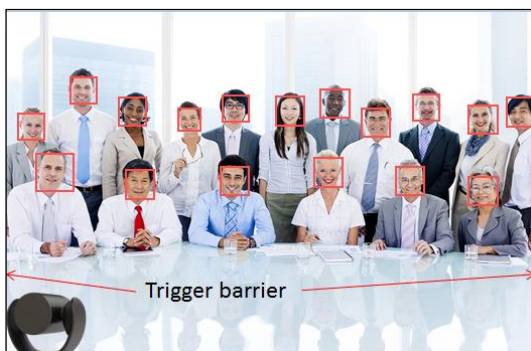
2種類のスマートフレーム

1. **手動フレーム**:すべての参加者が着席した状態で、 リモコンを押すか、PTZApp を使用し、手動で顔検出を有効にします。
2. **自動フレーム** :  ボタンの1秒長押しにより、手動から自動フレーミングに切り替えが可能です。切り替えが完了しますと **Auto Framing** が画面の下部に表示されます。



スマートフレームの使用方法

1. 手動フレーム: **5** ボタンを押し続けると **Framing** が画像画面の左上隅にポップアップ表示されます。これは、参加しているすべてのユーザーがカメラに向かって座って、存在するすべての顔を検出することを示します。3~5 秒後、自動的にズームし、FOV 調整を行います。
2. 自動フレーム: 自動フレームモードに切り替えると、**Framing** 画像画面の左上隅にポップアップが表示されます。カメラは参加者の検出を開始します。すべての参加者がフレームに入ると、顔検出エリアを確定します。人の顔が顔検出エリアの外に移動した場合、自動的に倍率1倍に戻り、顔を再検出後に再度 FOV 調整を行います。



フレーミング機能が機能するたびに **Framing** のメッセージが画面上に表示されます。

[注]

1. **Framing** メッセージ表示を非表示にする場合は、PTZApp に移動し、[オンスクリーンメニュー]の設定を OFF に変更してください。
2. スマートフレーム機能を切り替えるには、**5** リモコンの番号ボタンを押したままにしてオン/オフを切り替えます。トラッキングモードの設定を調整して、PTZApp で スマートフレームのオン/オフを切り替えることも可能です。

WEB 管理画面の使用

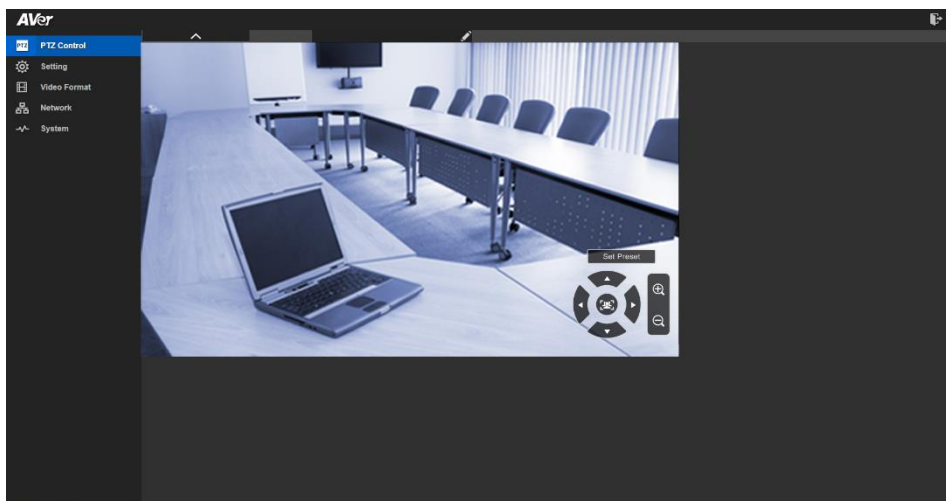
CAM520 Pro には IP 通信用のイーサネット端子があり、IP ネットワーク上でカメラをリモートで制御および設定することができます。

WEB 管理画面にログインする

事前に、カメラの IP アドレスを設定する必要があります。

「AVer IPFinder による接続」のセクションをご参照ください。

1. PC でブラウザを開き、URL 入力スペースに設定したカメラの IP アドレスを入力します。
2. ログイン画面でパスワードを入力します。デフォルトのパスワードは”aver4321”です。
3. Web 管理画面が表示されます。



ライブ画面操作


この画面では、カメラの方向操作、ズームイン/アウト、プリセット設定を行うことができます。

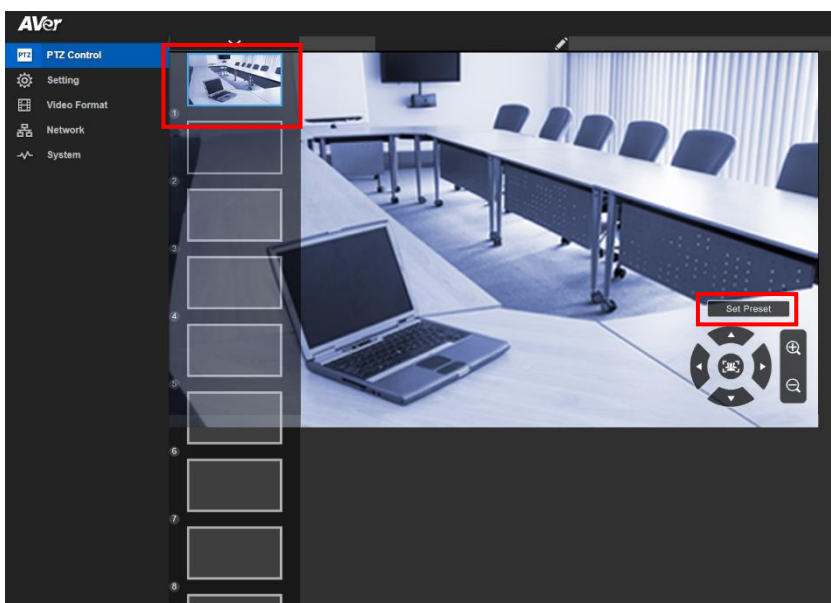
[注]一度にログインできるユーザーは1人のみです。別の2人目がログインした場合、最初にログインしたユーザーは強制的にログアウトされます。



プリセットの設定

ユーザーは最大 10 個のプリセット位置を登録することができます。

1. ライブ画面より、 を押し、プリセット位置リストを展開します。
2. プリセット番号(0~9)を選択します。
3. ▲▼◀▶方向ボタン・ズームイン/ズームアウトボタンを使用し、カメラ画面表示を希望の位置に調整します。
4. プリセットを保存するには、「Set Preset」をクリックします。
プリセット保存時、カメラ位置の映像が撮影され、登録順に一覧でサムネイルが表示されます。



【プリセット位置の名前設定】

下図赤枠の項目より、プリセット位置の名前を任意に設定することができます。

鉛筆アイコンを選択し、左の入力欄に登録する名前を入力します。


名前を削除するには、鉛筆アイコンを選択し、キーボードの削除キーを使用して削除します。



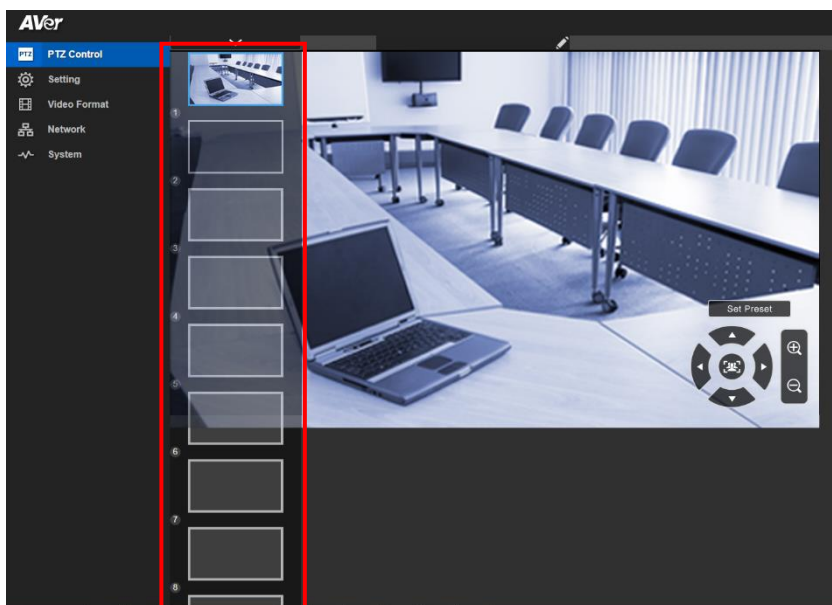
※別のプリセットを設定するには、上記の手順を繰り返します。

プリセット位置一覧の表示/非表示

複数のプリセット位置が保存された状態が必要です。

 を選択すると、プリセット位置リストが展開され、必要なプリセットを選択します。ライブ画面はプリセット画面ビューを移動します。上または下にスクロールしプリセットを選択します。

 を選択すると、プリセット位置リストが閉じます。

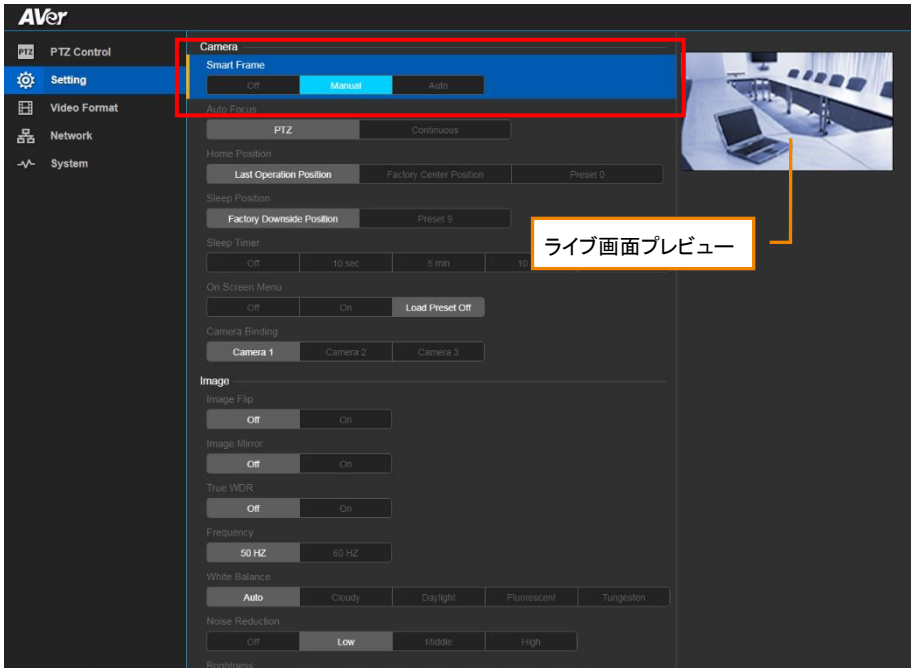


カメラ設定

スマートフレーム

すべての参加者に合わせて自動 FOV（視野）調整をクリックします。

設定画面より、[設定 ” > ”カメラ” > ”スマートフレーム” > ”自動” ”手動”または ”オフ”を選択します。

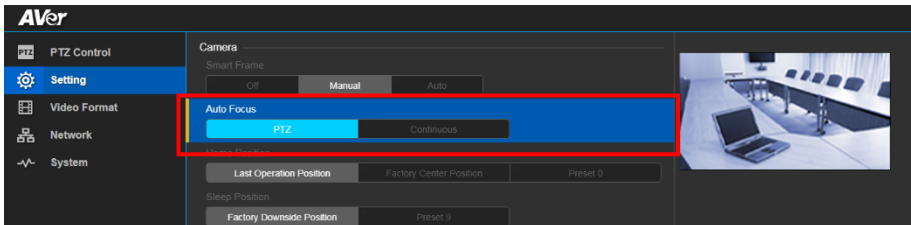


オートフォーカス

オートフォーカスモードを設定します。

設定画面より、[設定 ” > ”カメラ” > ”オートフォーカス” > ”PTZ” または ”連続” を選択します。

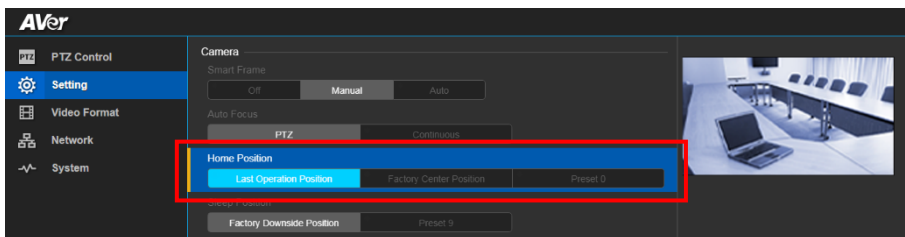
1. PTZ: パン、チルト、ズーム IN/OUT などボタン操作の度にフォーカス調整を行います。
2. 連続: 被写体が移動した場合、カメラが自動的にフォーカスを再調整します。



ホームポジション

カメラ起動時のカメラ位置(ホームポジション)を設定します。

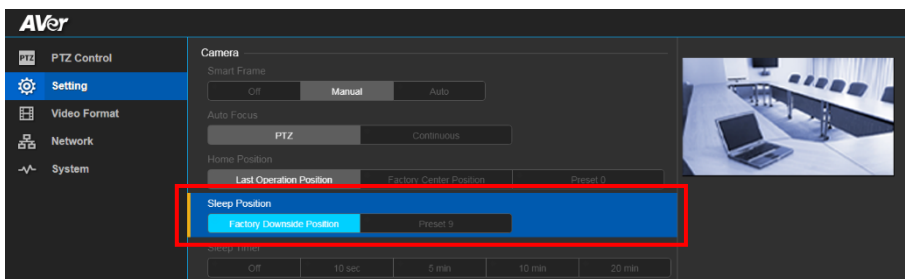
設定 > カメラ > ホームポジション > 最後の動作位置” ”工場出荷時” または ”プリセット 0”から選択します。



スリープ位置

カメラが3分以上無操作の状態ではカメラがスリープ状態となる際のカメラ位置を設定します。

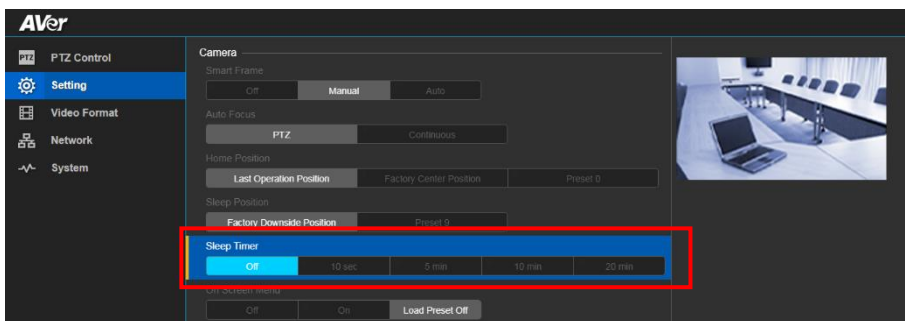
[設定 > カメラ > 睡眠位置 > 工場出荷時” または ”プリセット 9”を選択します。



スリープタイマー

カメラが無操作状態からスリープモードに入るまでの時間間隔を設定します。

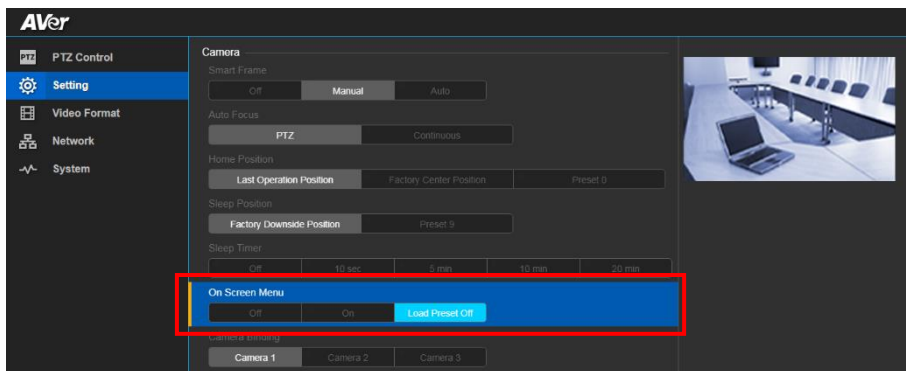
[設定 > カメラ > スリープタイマー > オフ ”, ”10秒” ”5分” ”10分”または ”20分”を選択します。



オンスクリーンメニュー

画面上に表示されるメッセージ表示の有効/無効を設定します。

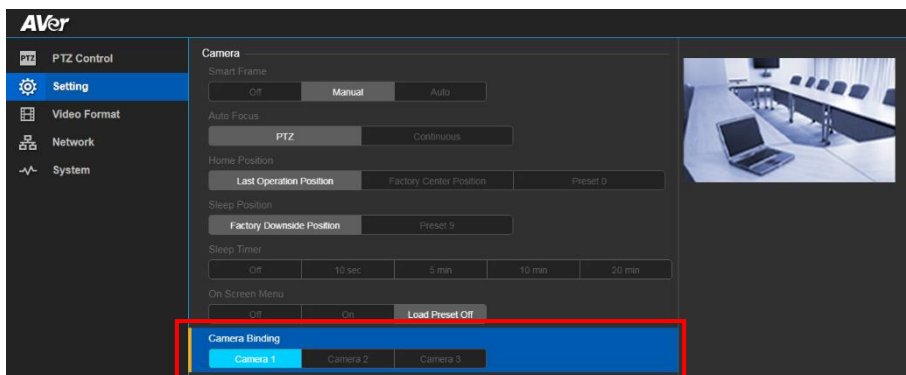
設定画面より、[設定] > "カメラ" > "画面メニュー" > "オフ" "オン" または "プリセットのみ有効" を選択します。



カメラの番号登録

複数のカメラを使用するため、リモコンのカメラ登録ボタン1~3に各カメラを設定できます。

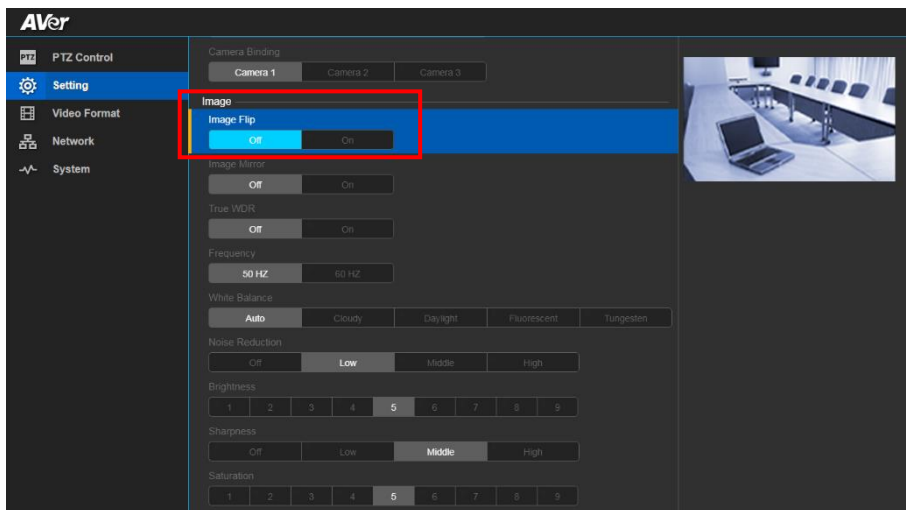
設定画面より、[設定] > "カメラ" > "カメラバインディング" > "カメラ1" "カメラ2" または "カメラ3" を選択します。



画像設定

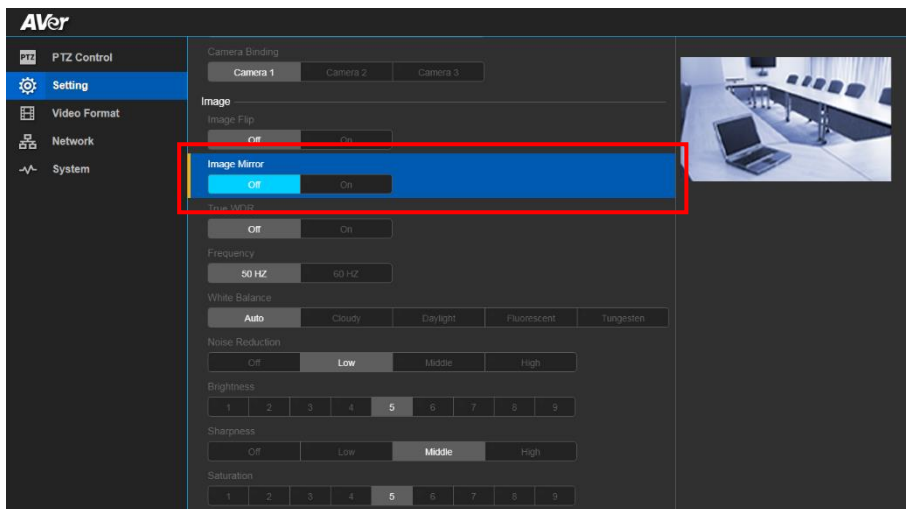
イメージフリップ(映像の上下反転)

カメラを上下逆に取り付けた場合、“Flip”を“ON”に設定し、ビデオ映像の上下を反転させます。設定画面より、[設定 > ”画像” > ”イメージフリップ” >”オフ” または”オン” を選択します。



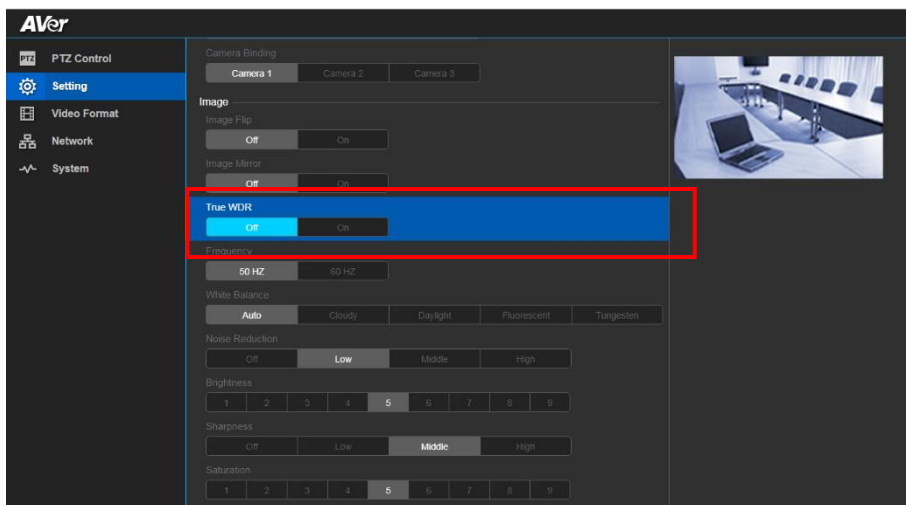
イメージミラー(映像の左右反転)

この設定が有効時、カメラ映像を左右反転の状態で出力します。設定画面より、[設定 > ”イメージ” > ”イメージミラー” >”オフ” または ”オン”を選択します。



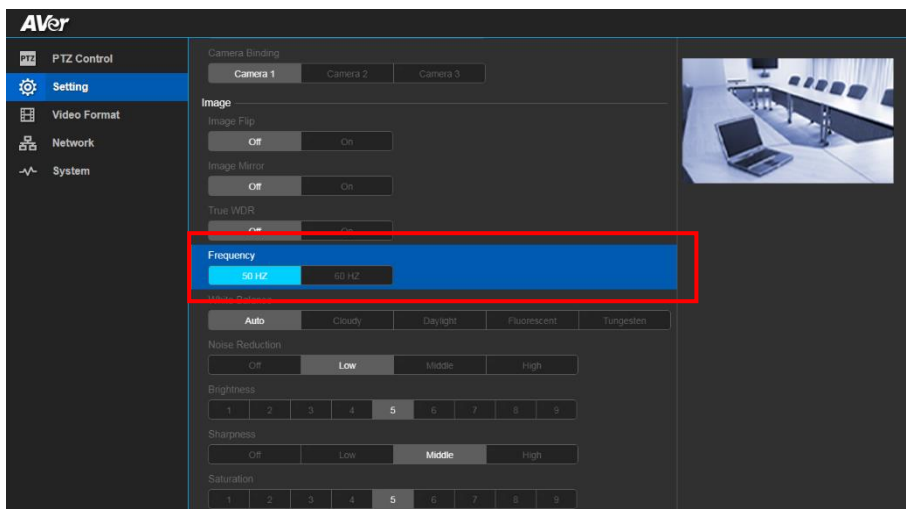
True WDR

WDR を有効にした場合、逆光の撮影環境での映像品質を改善することができます。
設定画面より、[設定] > ”イメージ” > ”TrueWDR”>”オフ” または ”オン” を選択します。



周波数

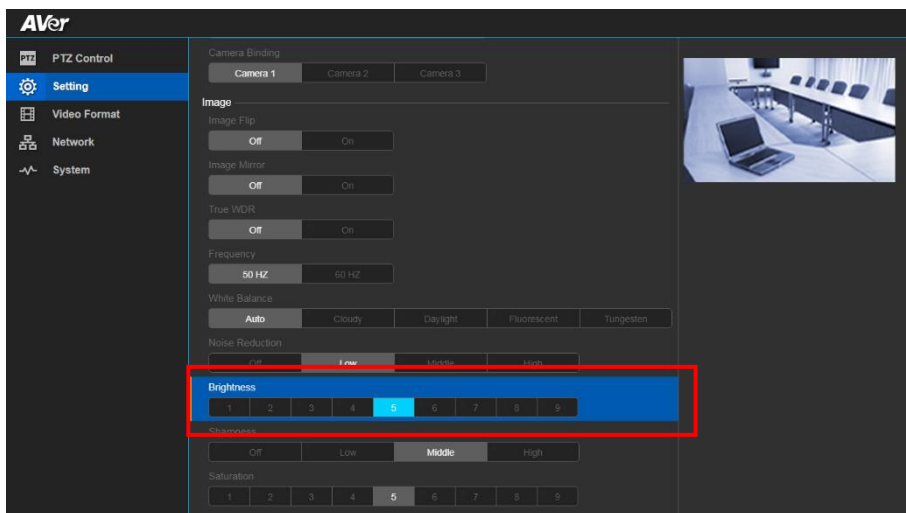
カメラの周波数を選択します。使用する地域の電源周波数に合わせて切り替えてください。
設定画面より、[設定] を選択します。Image” > ”Frequency” > ”50Hz”または”60Hz”。



ブライツネス

ビデオ映像の明るさを調整します。

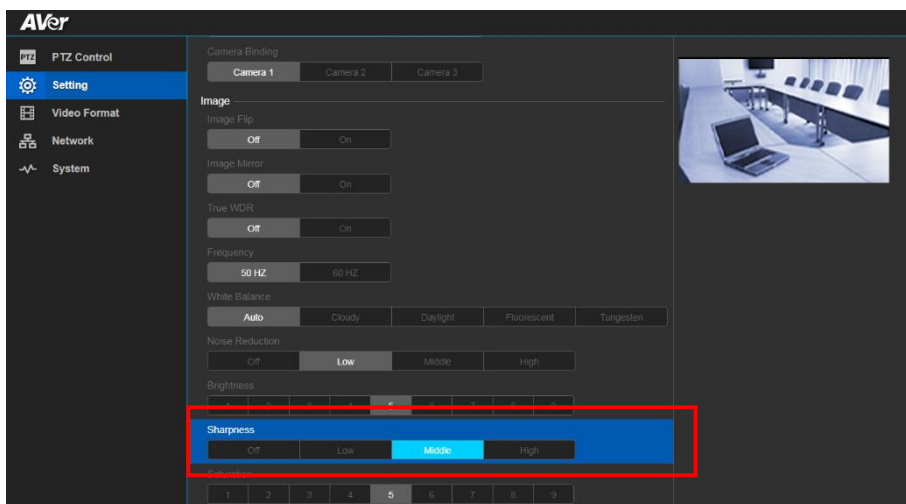
設定画面より、[設定 **Setting**] > **Image** > **Brightness**>”1~9” を選択します。



シャープネス

シャープネスの値を調整します。

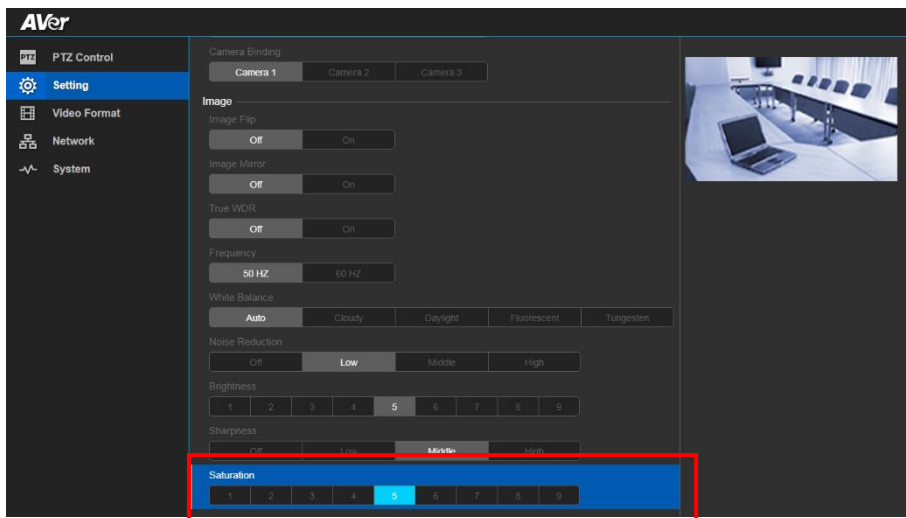
設定画面より、[設定 **Setting**] > **Image** > **Sharpness** >”オフ”、”低”、”中 **Medium**”、または”高” を選択します。



彩度

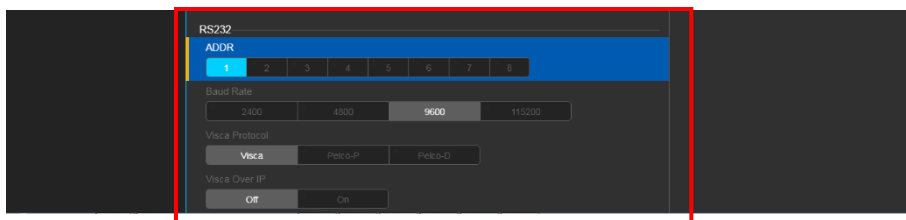
彩度の値を調整します。

設定画面より、[設定] > [画像] > [彩度] > [1~9] を選択します。



RS232 設定

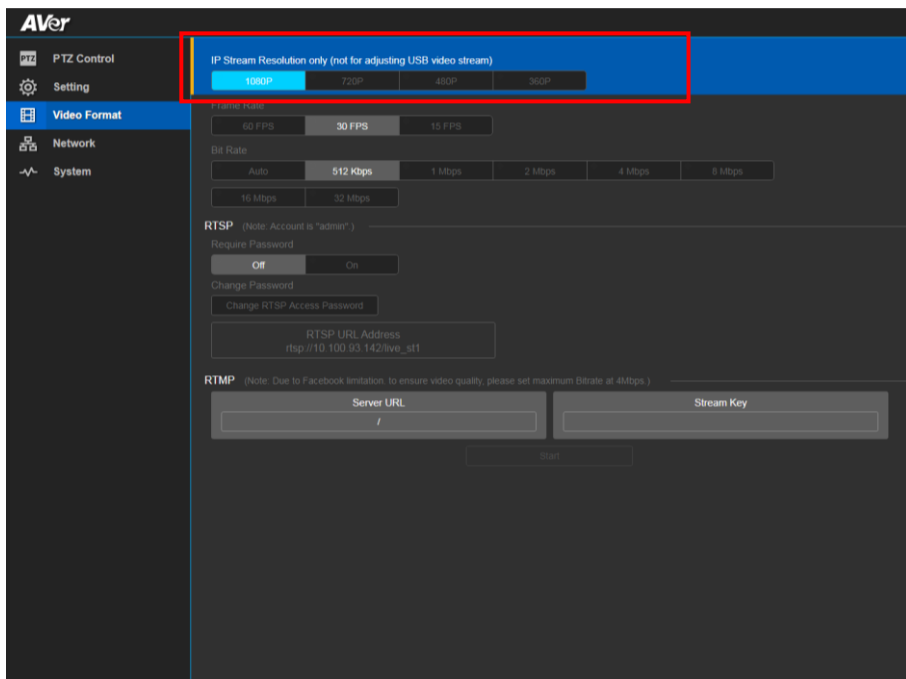
CAM520 Pro が RS232 端子を使用し、PTZ カメラコントローラと接続する場合は、ADDR、ポート、VISCA プロトコル、VISCA over IP 設定を設定してください。



ビデオフォーマットの設定

IP ストリームの設定

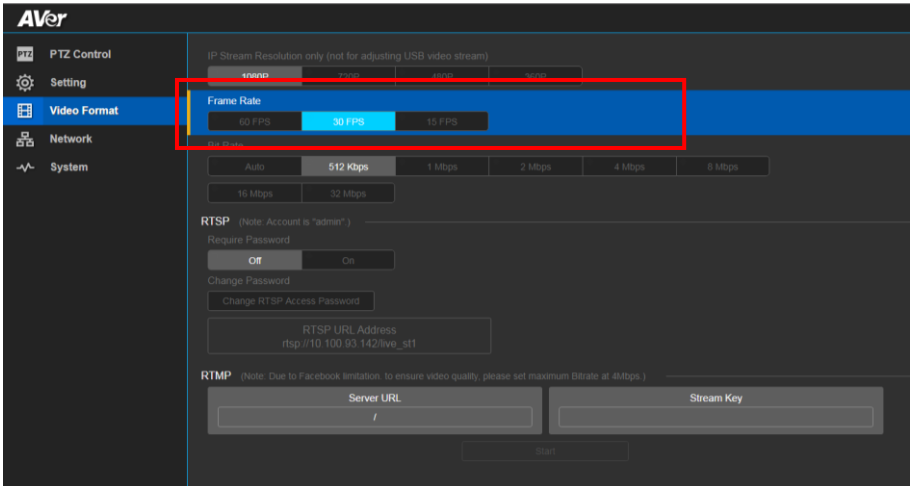
IP ストリームのビデオ解像度を選択します。(この設定は USB 出力には反映されません)
設定画面より、[ビデオフォーマット] > ”IP ストリーム解像度” > ”1080P”、”720P”、”480P”
、または ”360P” を選択します。



フレームレート

IP ストリームのフレームレートの値を選択します。

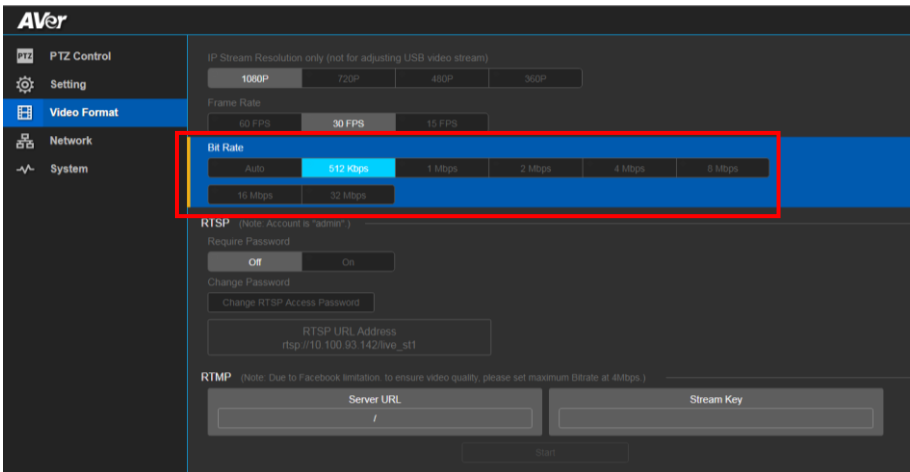
設定画面より、[ビデオフォーマット] > [フレームレート] > ” 60FPS” 、”30FPS”、または ”15FPS” を選択します。



ビットレート

IP ストリームのビットレート値を選択します。

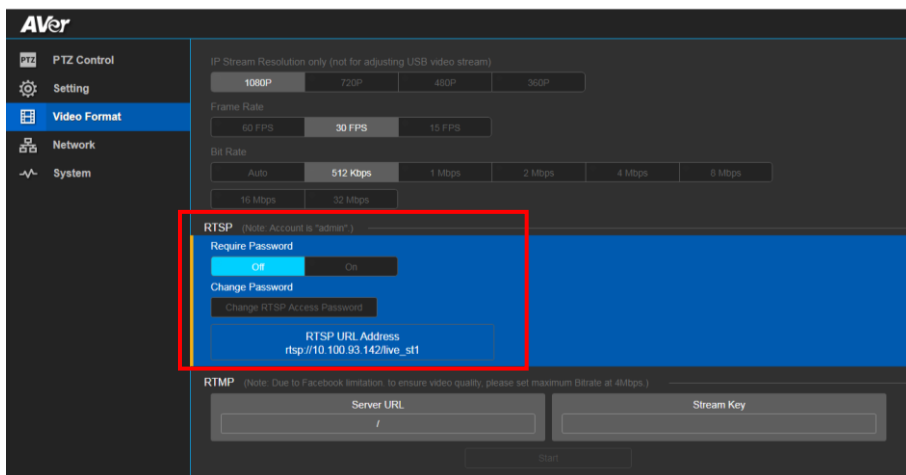
設定画面より、[ビデオフォーマット] > [ビットレート] > ”自動”、 ”512Kbps”、 ”1Mbps”、 ”2Mbps”、 ”4Mbps” または ”8Mbps” を選択します。”、 “



RTSP

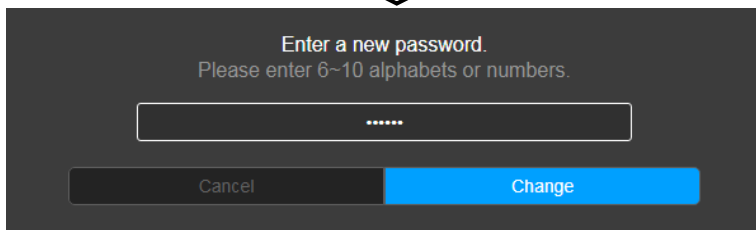
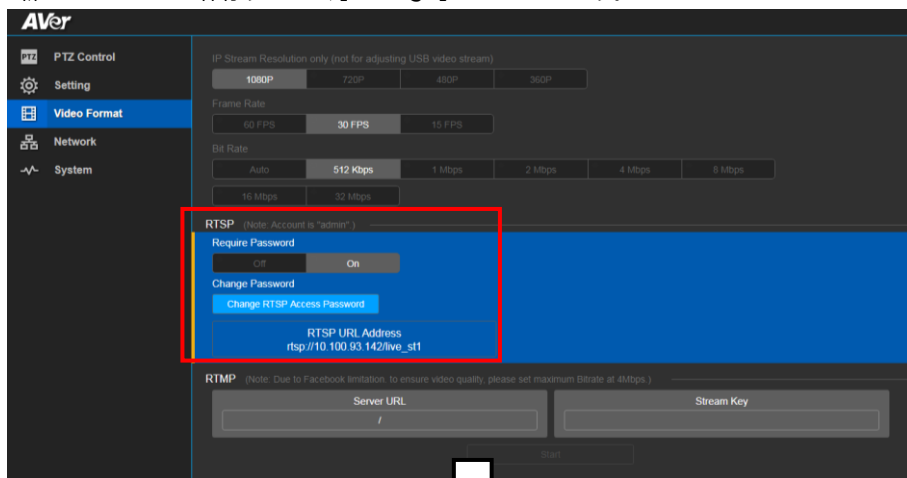
カメラに接続する RTSP プレーヤーを使用するには、VLC、PotPlayer または クイックタイム などのアプリケーションでウェブ上に表示される RTSP URL を入力してください。

RTSP 機能を有効にするには、[オン] を選択してください。



RTSP パスワードの変更

1. 設定画面より、[ビデオフォーマット] > "RTSP"> "RTSP アクセスパスワードの変更" を選択します。
2. 新しいパスワードを入力します。
3. 新しいパスワードを保存するには、[Change] をクリックします。

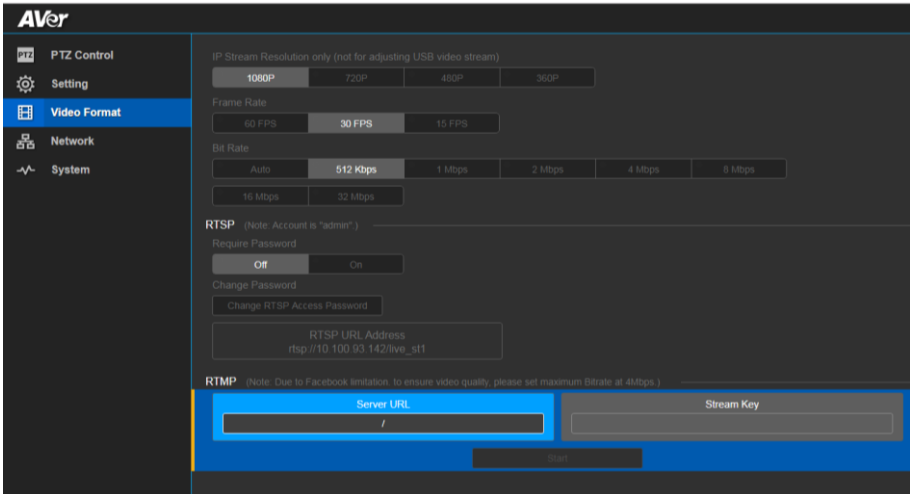


RTMP

カメラのライブ映像を PTMP 対応の Web サイトへストリーミング配信します。(例: YoutubeLive など)。

設定画面より、[ビデオフォーマット] を選択します。”

1. RTMP サーバーの URL とストリーム キーをブロードキャスト プラットフォームから探し、”サーバー URL”および”ストリーム キー”列に入力します。
2. [スタート]を選択すると、カメラのライブ ビデオが the camera ブロードキャスト プラットフォーム にアップロードされます。
3. [停止]を選択すると、ビデオの配信が停止します。

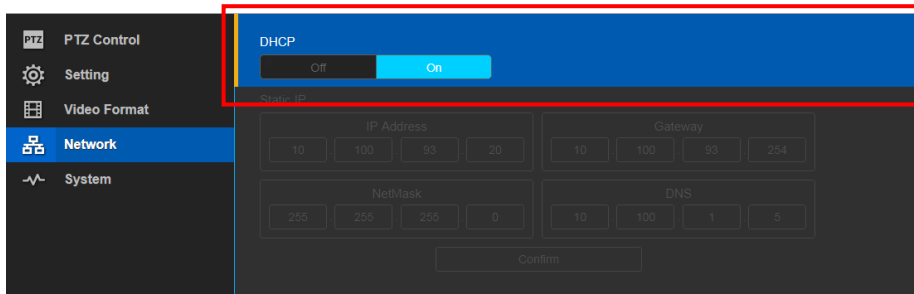


ネットワーク設定

DHCP

DHCP 機能を有効/無効にします。

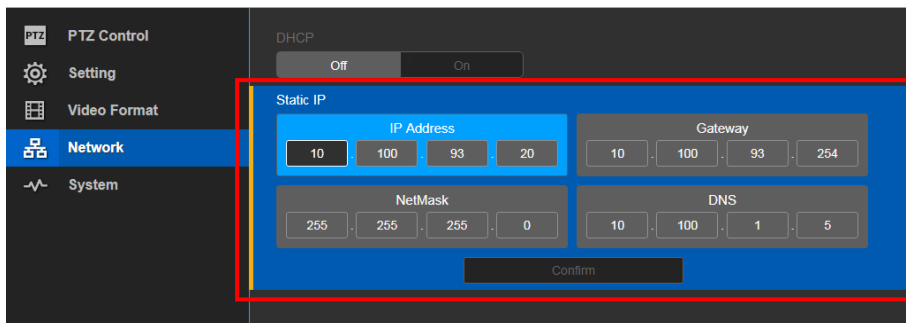
設定画面より、[ネットワーク Network" > "DHCP" > "オフ"または " オン" を選択します。



静的 IP

カメラに固定 IP アドレスを割り当てます。※DHCP 機能をオフにしてください。

1. 設定画面より、[ネットワーク" > "静的 IP"を選択します。
2. 各入力項目「IP アドレス」、ゲートウェイ”、”サブネットマスク”および”DNS”を入力します。
3. [確認]を選択して設定を完了します。



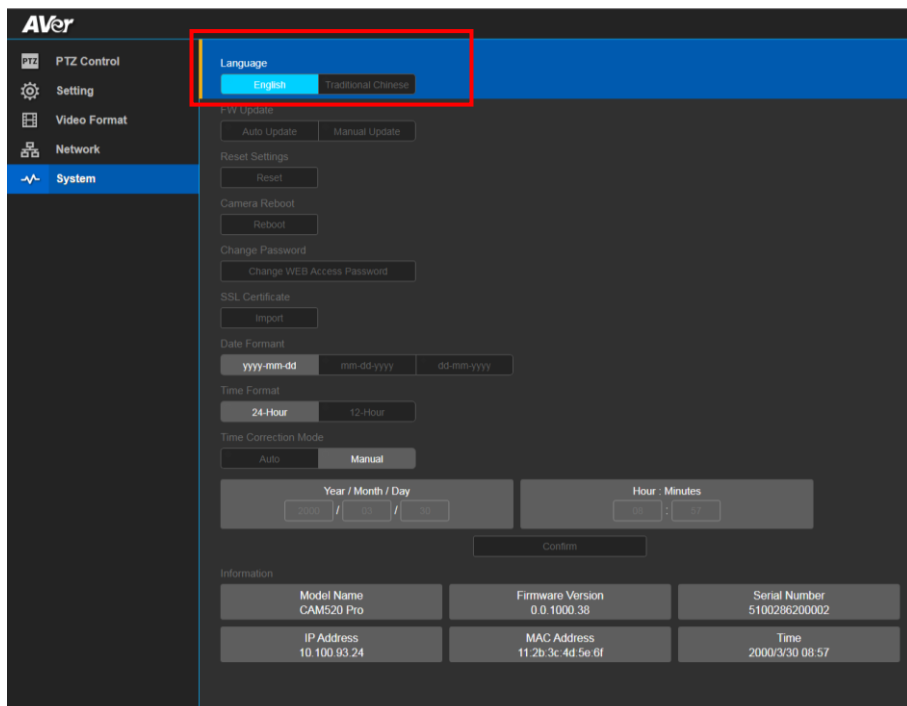
システム設定

言語

システムの言語を選択します。

設定画面より、[システム] > "言語" > より使用する言語を選択します。

[注] 今後、さらに言語が追加される予定です。



ファームウェアの更新

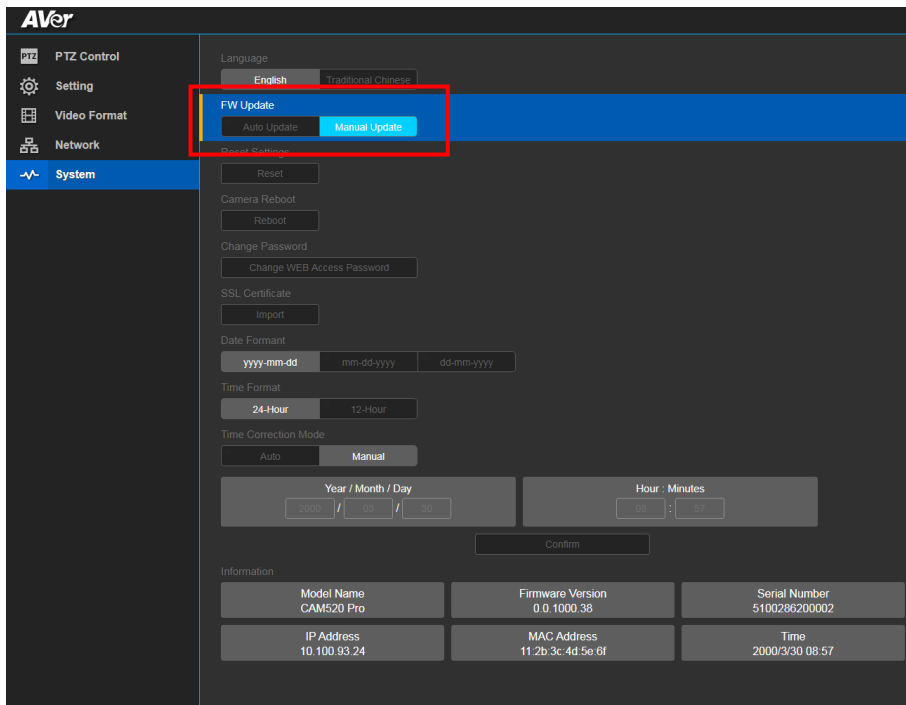
カメラのファームウェアを更新します。

設定画面より、["システム">"FWアップデート">"自動更新"または"手動更新"]を選択します。

1. **自動更新:**システムはファームウェアをチェックし、自動的に更新します。ファームウェアが最新バージョンの場合、アップデートは実行されません。
2. **手動更新:**特定の場所からファームウェアを更新します。

※アップデート後、カメラが再起動し、接続が一度切断されます。

再起動が完了するまでWEB管理画面は表示されません。



The screenshot displays the AVer PTZ Control web interface. The left sidebar contains navigation options: PTZ Control, Setting, Video Format, Network, and System (selected). The main content area shows the 'FW Update' section, which is highlighted with a red box. This section includes two buttons: 'Auto Update' and 'Manual Update'. Below this, there are various system configuration options such as 'Reset', 'Camera Reboot', 'Change Password', 'SSL Certificate', 'Date Format', 'Time Format', and 'Time Correction Mode'. At the bottom, an 'Information' table provides details about the device's model, firmware version, serial number, IP address, MAC address, and current time.

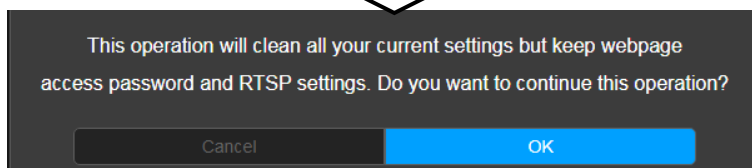
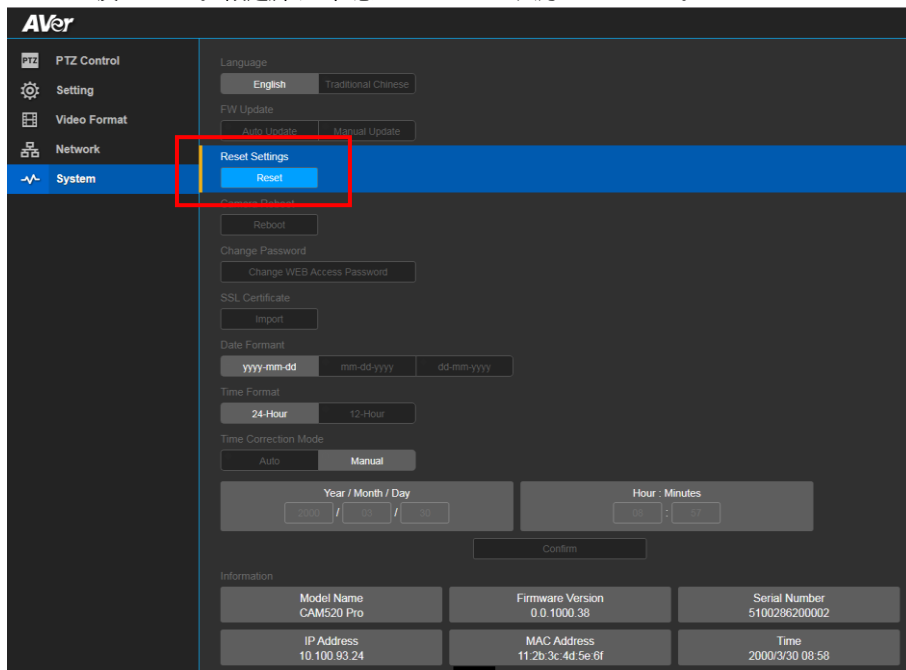
Information		
Model Name	Firmware Version	Serial Number
CAM520 Pro	0.0.1000.38	5100286200002
IP Address	MAC Address	Time
10.100.93.24	11.2b.3c.4d.5e.6f	2000/3/30 08:57

設定のリセット

カメラを工場出荷時のデフォルト設定にリセットします。

1. 設定画面より、[システム] > [設定のリセット] を選択します。
2. 「リセット」を選択します。
3. [OK] を選択して、出荷時の既定値にリセットします。

[注] 出荷時のデフォルトを実行した場合であっても Web ログインパスワードと RTSP のパスワードはデフォルトに戻りません。設定済みの任意のパスワードを入力してください。



カメラの再起動

カメラを手動で再起動します。

1. 設定画面より、[システム] > [カメラの再起動] を選択します。
2. 「再起動」を選択します。
3. [続行]を選択して、カメラを再起動します。

The screenshot shows the AVer camera web interface. On the left is a navigation menu with 'System' selected. The main content area shows various settings like Language, FW Update, and Reset Settings. The 'Camera Reboot' section is highlighted in blue, with a 'Reboot' button. Below it are options for changing the password, SSL certificate, date and time formats, and time correction mode. At the bottom, there is a 'Confirm' button and an 'Information' table.

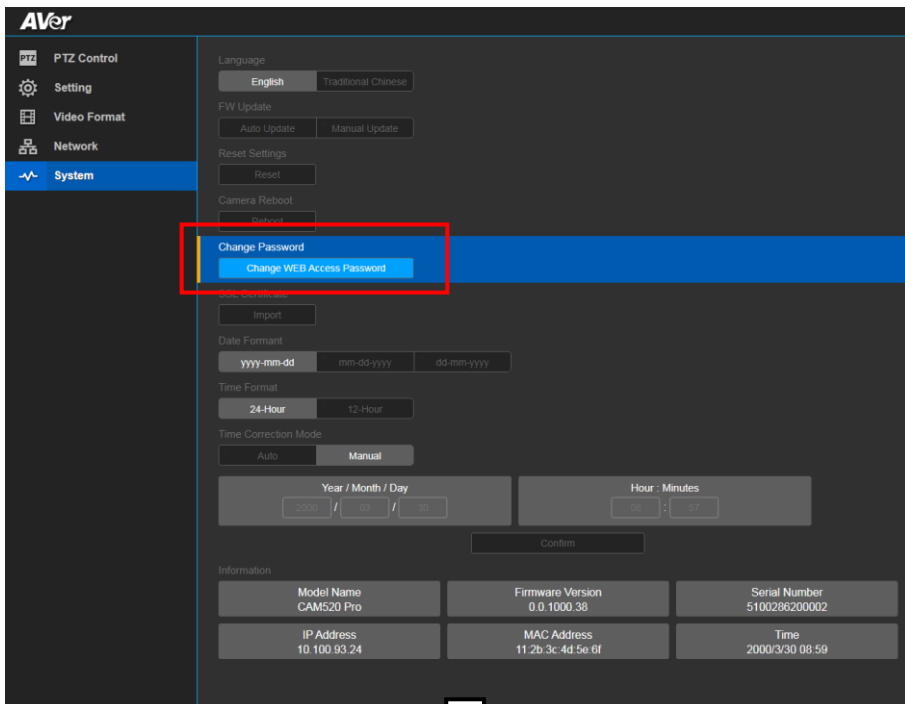
Information		
Model Name	Firmware Version	Serial Number
CAM520 Pro	0.0.1000.38	5100286200002
IP Address	MAC Address	Time
10.100.93.24	11.2b.3c.4d.5e.6f	2000/3/30 08:59

A confirmation dialog box with a dark background and white text. It asks 'Are you sure you want to reboot the camera.' and has two buttons: 'Cancel' and 'Continue'.

パスワードの変更

Web ログイン時のパスワードを変更します。デフォルトのパスワードは "aver4321" です。

1. [システム] > [パスワードの変更] > [WEB アクセスパスワードの変更] を選択します。
2. 古いパスワードを入力し、新しいパスワードを入力します。
3. [変更]を選択して、新しいパスワードを保存します。
4. ユーザーがパスワードを忘れてデフォルトのパスワードに戻りたい場合は、PTZApp(FW アップデートページ)または OSD を使用してリセットしてください。



Enter the old password

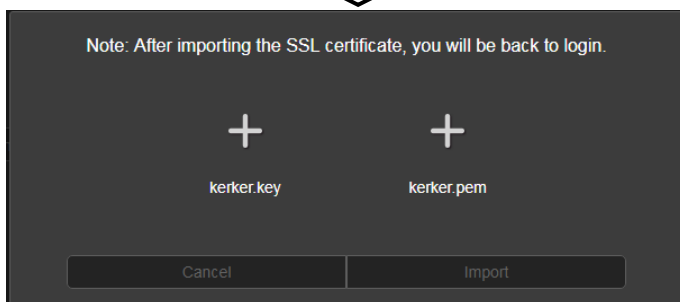
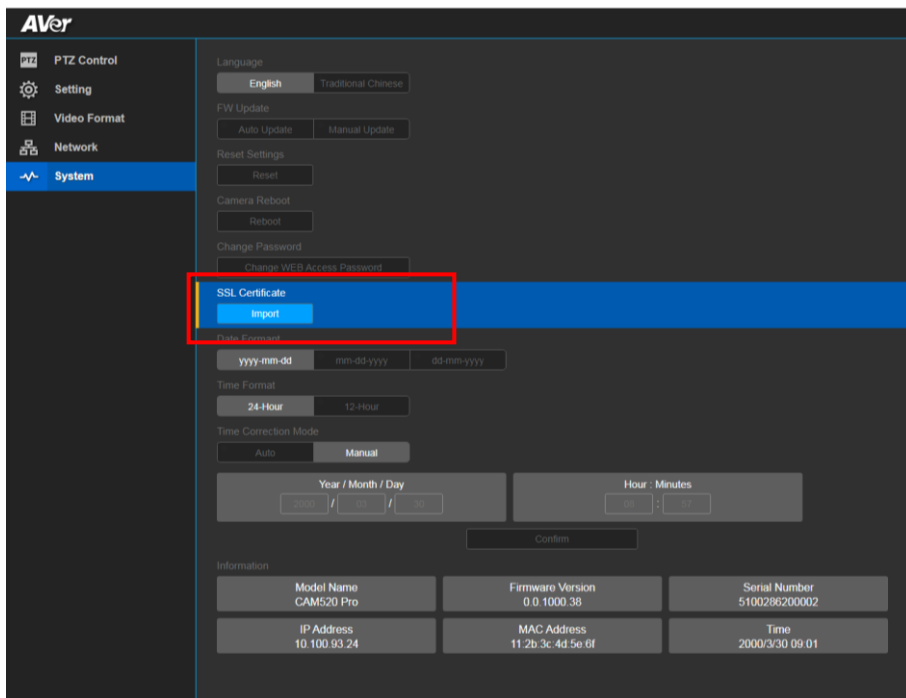
Enter a new password. Please enter 6~10 alphabets or numbers.

Cancel Change

SSL 証明書

特定の場所から SSL 証明書をインポートします。

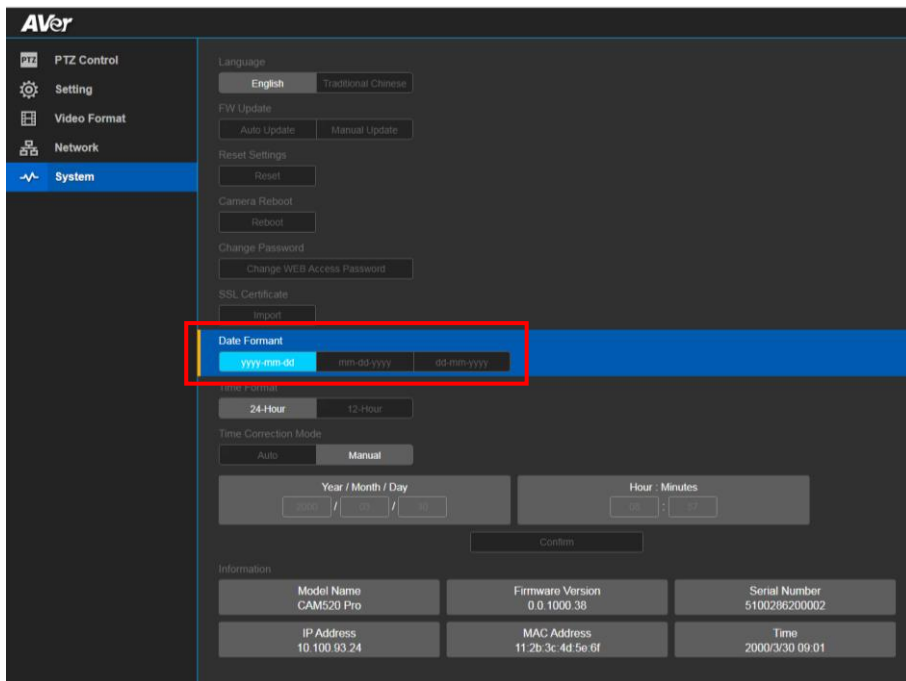
1. 設定画面より、「システム」>「SSL 証明書」を選択します。
2. 「+」をクリックしてタイプを選択します。
3. ファイルの場所を指定します。
4. 「インポート」を選択します。



日付形式

日付形式を選択します。

ライブ画面ビューで、[システム System] > ”日付形式” > ”yyyy-mm-dd” ””mm-dd-yyyy”、または ”dd-mm-yyyy” を選択します。



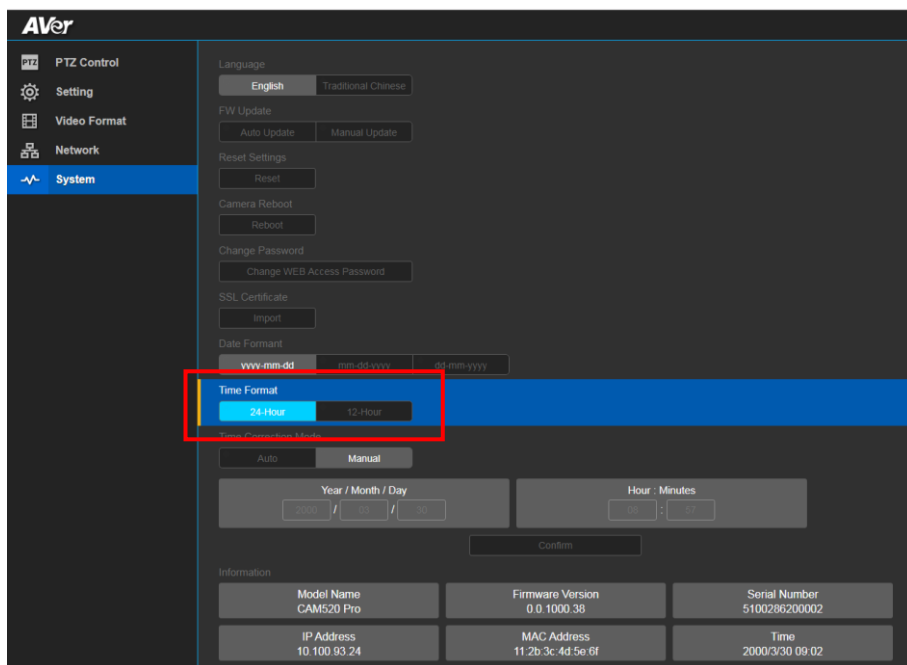
The screenshot shows the AVer system settings interface. The left sidebar has a menu with options: PTZ Control, Setting, Video Format, Network, and System (highlighted in blue). The main content area is titled "Date Format" and is highlighted with a red box. It contains three radio button options: "yyyy-mm-dd" (selected), "mm-dd-yyyy", and "dd-mm-yyyy". Below this, there are sections for "Time Format" (24-Hour and 12-Hour), "Time Correction Mode" (Auto and Manual), and "Year / Month / Day" and "Hour : Minutes" input fields. At the bottom, there is an "Information" section with a table of system details.

Information		
Model Name	Firmware Version	Serial Number
CAM520 Pro	0.0.1000.36	510026620002
IP Address	MAC Address	Time
10.100.93.24	11:2b:3c:4d:5e:6f	2000/3/30 09:01

時刻形式

時刻の形式を選択します。

設定画面より、[システム System] > [時刻の形式] > ”24 時間” または”12 時間” を選択します。



The screenshot displays the AVer PTZ Control web interface. The left sidebar shows the navigation menu with 'System' selected. The main content area shows various system settings. The 'Time Format' section is highlighted with a red box, showing two options: '24 Hour' (selected) and '12 Hour'. Below this, there are fields for 'Year / Month / Day' and 'Hour : Minutes', and a 'Confirm' button. At the bottom, an 'Information' section displays system details.

Information		
Model Name	Firmware Version	Serial Number
CAM520 Pro	0.0.1000.38	5100286200002
IP Address	MAC Address	Time
10.100.93.24	11.2b.3c.4d.5e.6f	2000/3/30 09:02

時刻設定

自動または手動で時間を調整します。

設定画面より、[システム] > ”NTP を有効にする” > ”自動” または ”手動” を選択します。

1. **自動:**システム時刻はネットワーク上の NTP サーバーによって設定されます。NTP サーバの IP アドレスを入力し、[タイムゾーン] を選択します。設定を保存するには、[NTP アップデート]を選択します。[アクティブ化] を選択すると、自動時間調整が開始されます。

[注]デフォルトの NTP サーバーは米国にあります。手動で使用する NTP サーバーを設定して下さい。

The screenshot shows the 'Time Correction Mode' interface with 'Auto' selected. It includes fields for 'NTP Server', 'Time Zone' (set to UTC-12:00), and 'NTP Update', along with an 'Activate' button.

2. **手動:**ユーザーは手動で時間を設定できます。年、月、日、時、分を入力します。

[確認] を選択して、設定を保存します。

The screenshot shows the 'Time Correction Mode' interface with 'Manual' selected. It includes input fields for 'Year / Month / Day' (2000 / 03 / 30) and 'Hour : Minutes' (03 : 57), along with a 'Confirm' button.

情報

モデル名、ファームウェア バージョン、シリアル番号、IP アドレス、MAC アドレス、および時刻の情報を表示します。

設定画面より、[システム] > ” 情報” を選択します。

Information		
Model Name VC520 Pro	Firmware Version 0.0.1000.36	Serial Number 5100293800025
IP Address 10.100.93.61	MAC Address 00:11:22:33:44:25	Time 2000/1/19 07:19

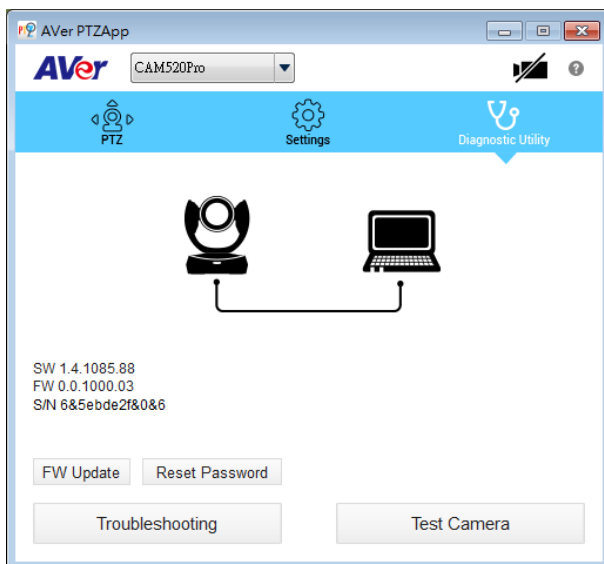
AVer PTZApp の使用

AVer PTZApp をインストールする

PTZApp を URL よりダウンロードします。<http://www.aver.com/download-center>
ダウンロード後、ファイルをダブルクリックし、画面の指示に従い、インストールを完了します。

AVer PTZApp の使用

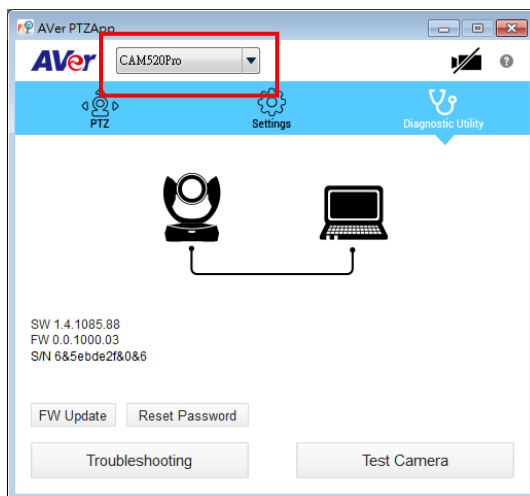
1. 使用する Web 会議ソフトウェアを起動します。
2. ビデオ通話中、AVer PTZApp を使用し、カメラのパンチルト、ズームアウトを行うことができます。
3. カメラの各パラメータを設定することができます。項目は下記内容の通りです。



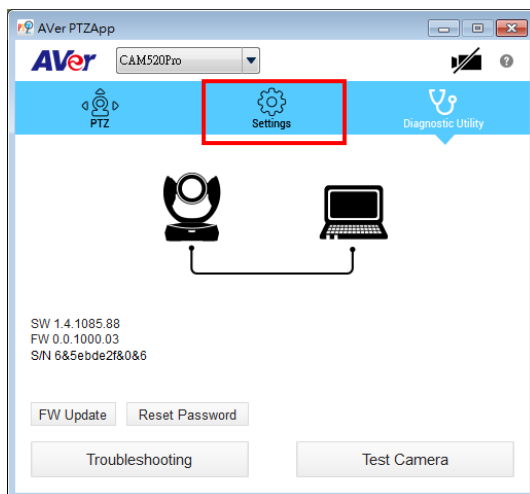
1. 現在選択されているデバイス

下図赤枠には、PC に接続され PTZApp に認識されたデバイスが表示されます。

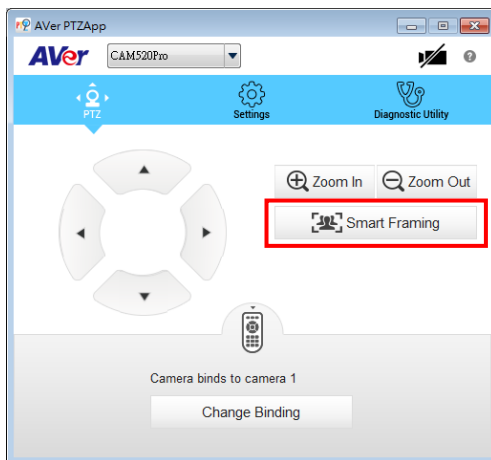
複数のカメラデバイスが接続されている場合、ドロップダウンリストをクリックして、他のデバイスを選択することができます。



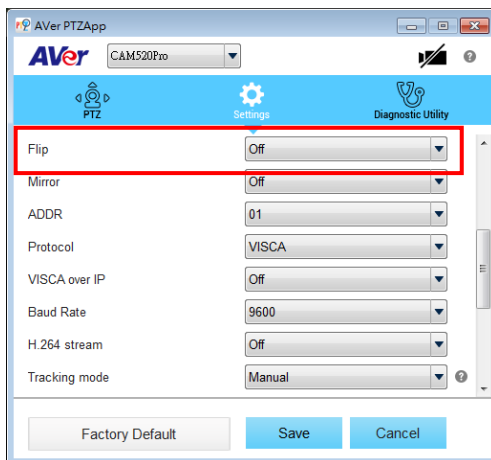
2. Setting:クリックすると詳細設定の項目が表示されます。



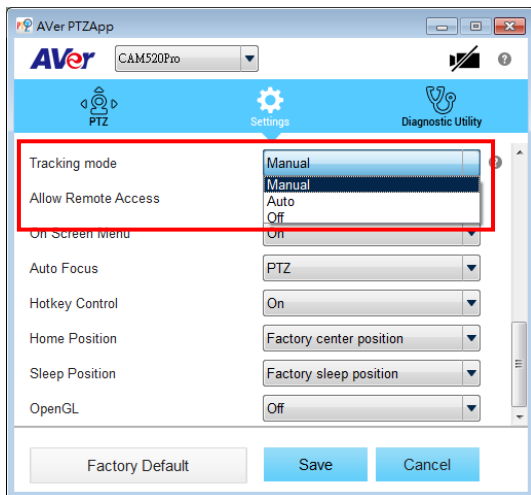
3. PTZ:カメラ操作(・ズームインとズームアウト)を行うことができます。
1. スマートフレーム:ビデオ内に検知された顔に合わせ、自動 FOV 調整(ズーム)を行います。スマートフレーミングを手動で有効にするには、[Smart Framing] をクリックします。
[注]顔検出のため、参加者はカメラに対して顔を正面に向ける必要があります。



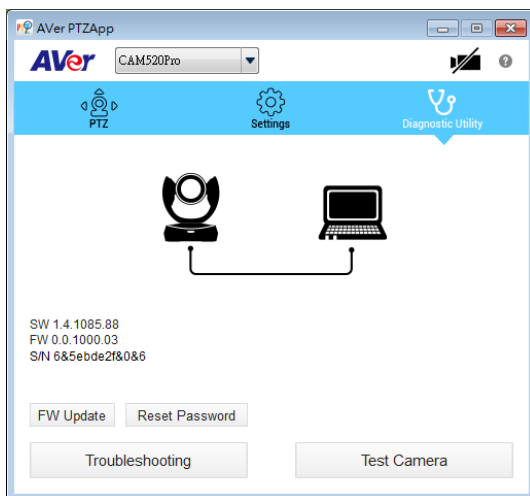
2. 設定:カメラのパラメータを設定します。[保存]ボタンをクリックして、すべての設定を保存します。すべての設定を変更するには、既定値に戻り、[出荷時の既定値] ボタンをクリックします。
 1. フリップ: CAM520 Pro が上下逆の位置にインストールされている場合は、AVer PTZApp の「Flip」機能を有効にし、ビデオ映像を上下反転の状態にしてください。



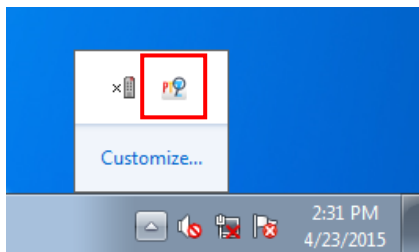
2. トラッキングモード:スマートフレーム機能の手動/自動の切り替えを設定します。
オフの場合、リモコンのホットキーは使用できなくなります。
[注]顔検出のため、参加者はカメラに対して顔を正面に向ける必要があります。




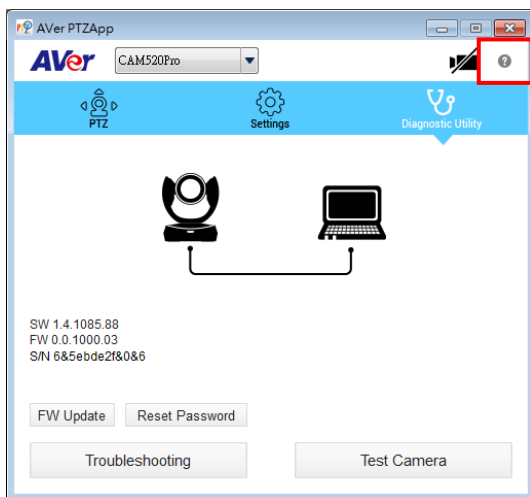
3. 診断ユーティリティ: ソフトウェア(PTZApp)のバージョン、カメラ本体のファームウェアのバージョンとデバイスの接続ステータスが表示されます。
カメラのファームウェアを更新や、Web ログインパスワードをリセットを行う項目です。



1. **最小化:**システムトレイにアプリを最小化します。アプリケーションを終了するには、システムトレイのアイコンを右クリックし、**Quit** を選択します。



 : このアイコンをクリックするとブラウザが起動し PTZApp の Web ページが表示されます。

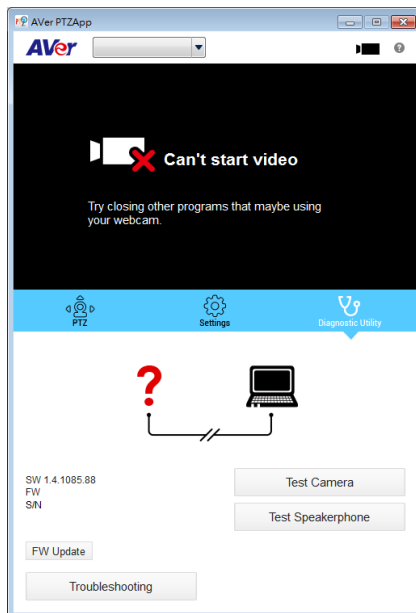


■ (カメラ): クリックすると、カメラのライブ映像が表示されます。カメラアイコンをもう一度クリックすると、カメラのライブ映像を閉じます。

※ライブビデオが表示されない場合、カメラと PC 接続を確認し、正常に接続されていることを確認してください。

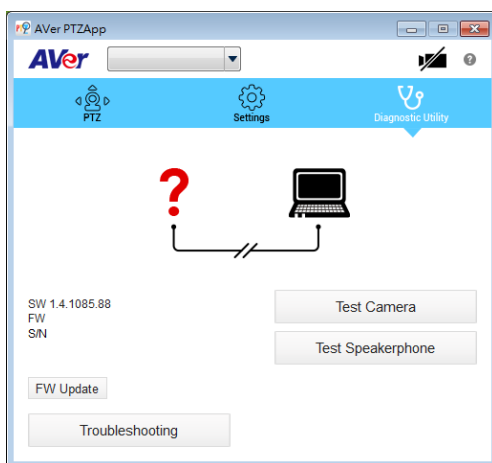


正常

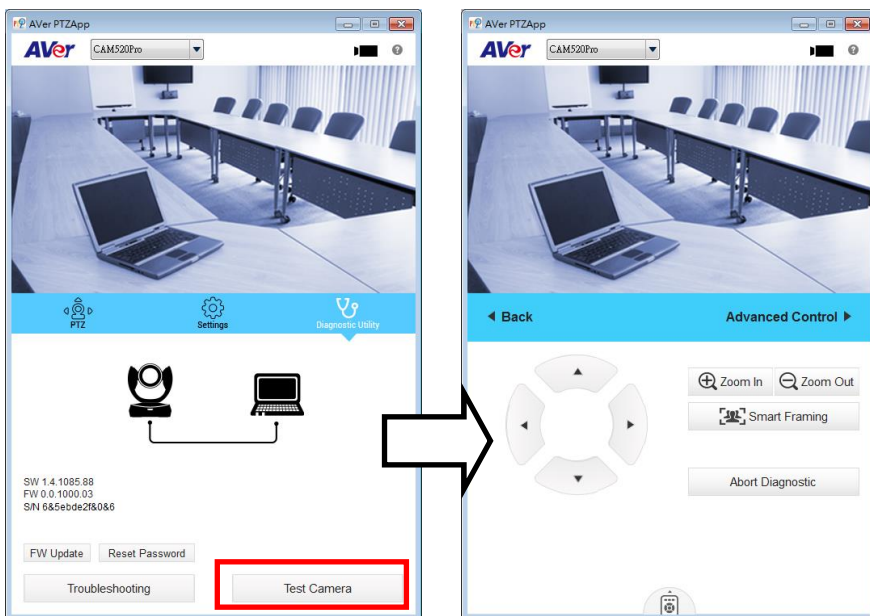


異常

接続診断: デバイスの接続状態を表示します。PTZApp がカメラと PC が正常に接続されていないことを検出した場合、図には “?”マークが表示されます。カメラが別のアプリケーションで使用されている場合は、「ビデオを開始できません」という警告が表示されます。

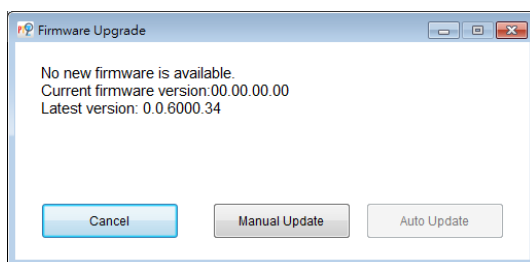


カメラのテスト:ビデオ表示状態を確認するには、Test Camera をクリックします。カメラ方向操作とズーム操作を調整できます。終了するには、[Back]ボタンをクリックします。



2. **FW 更新:**カメラ本体のファームウェアを更新することができます。

1. ” **FW 更新** ”をクリックします。
2. ダイアログには、現在のファームウェアのバージョンと利用可能な新しいファームウェアのバージョンが表示されます(インターネットへの接続が必要です)。



3. 自動更新するには、[自動更新] をクリックすると、更新が開始されます。新しいファームウェアが最初にダウンロードされます。その後、新しいファームウェアがカメラにアップロードされます。
- 4.

[注]ファームウェア更新中はカメラの電源・USB ケーブルを抜かないでください。
ファームウェアを手動で更新する場合は、[手動更新] をクリックし、弊社 HP からダウンロードしたファームウェアデータを選択し更新を実施してください。

カメラ番号の設定

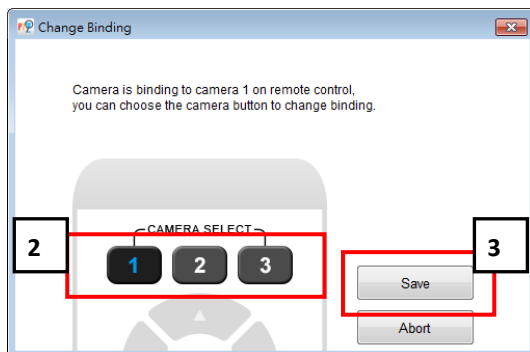
複数のカメラデバイスが接続されている場合、

リモコン上部のカメラ登録ボタン 1～3 に各カメラを割当することができます。

1. PTZApp のドロップダウンリストから、設定を行うカメラを選択します。
2. 次に、[カメラ指定を変更] ボタンをクリックします。



3. 割当を行うリモコンのカメラ番号を選択します。
4. [保存] をクリックして設定を保存します。設定を終了するには、[終了] をクリックします。



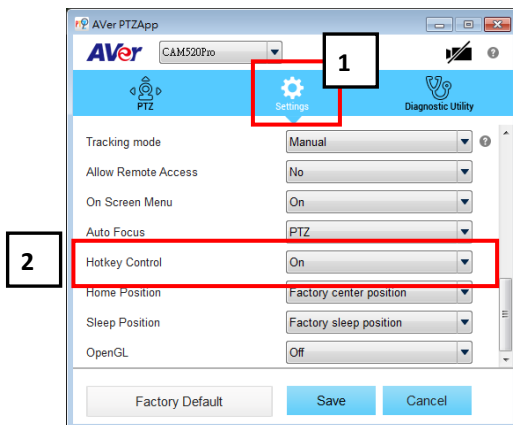
[注]デフォルトはボタン 1 にカメラが割当されています。

リモコンでカメラ 2 または 3 を押すと、リモコンでカメラを制御できない状態になりますのでカメラ 1 ボタンを再度を押し操作可能な状態へ戻し、ご利用ください。

ホットキーコントロール

キーボードコントロールカメラの動き、バックライト、スマートフレーミングを使用するには、ホットキーコントロールを有効にします。

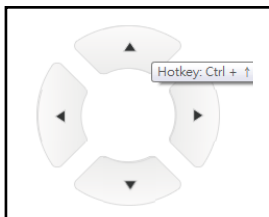
1. "Setting"を選択します。
2. ホットキーコントロールを"On"に設定します。



3. 下図のホットキー説明が表示されます。



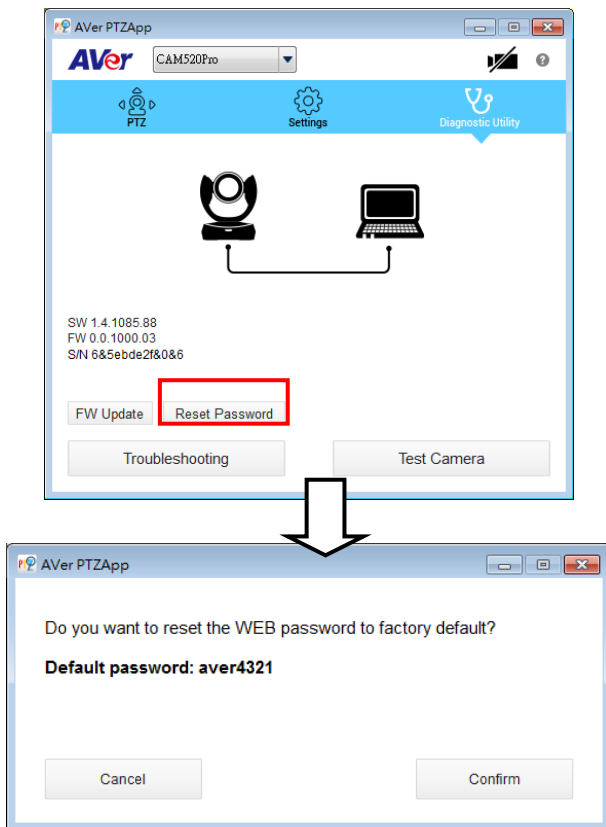
4. ホットキーコントロールが有効な場合、操作キー上にポップアップ画面が表示されます。



5. PTZApp をインストールした後にホットキー機能が有効になっている場合、PTZApp は次回 PC を再起動するときに自動起動します。したがって、PTZApp はシステムトレイで自動実行されているため、お客様はすべてのホットキーコマンドを使用できます。

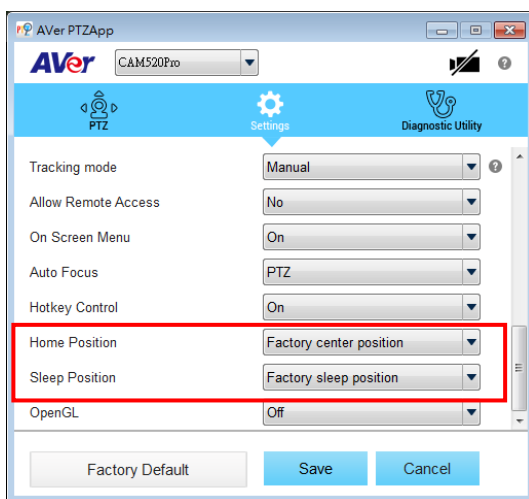
パスワードのリセット

Web アクセス パスワードを既定に戻します。デフォルトのパスワードは”aver4321”です。



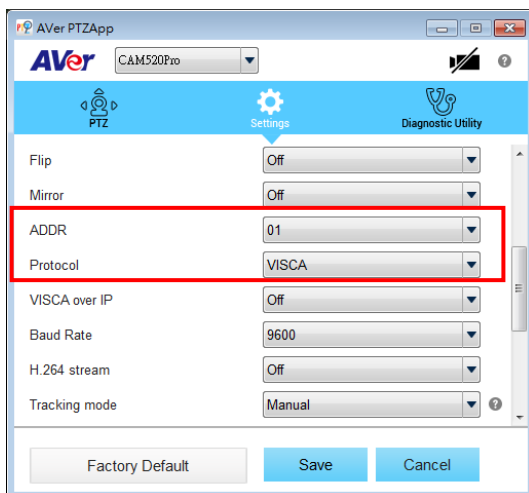
ホーム / スリープ位置

ホームポジション:3つのオプションがあります:最後の操作位置/工場出荷位置(正面)/プリセット 0
スリープ位置:2つのオプションがあります - 工場出荷時のスリープ位置(左下)/プリセット 9
※カメラが3分以上無操作の状態になるとスリープに入ります。



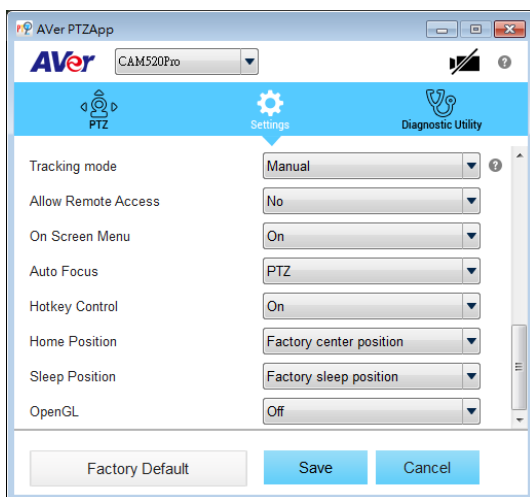
ADDR / プロトコル/ボーレート

これらの設定は RS232 機能に関連しています。
外部制御パネルと接続する際に、適切な値を選択してください。




OpenGL


デフォルトは[オフ]に設定されています。お使いの PC が OpenGL に対応している場合は、オンにすることで、より良いフレームレートと滑らかなビデオ品質を得ることができます。お使いの PC が OpenGL に非対応の場合、有効にするとビデオ表示の問題を引き起こす可能性があります。




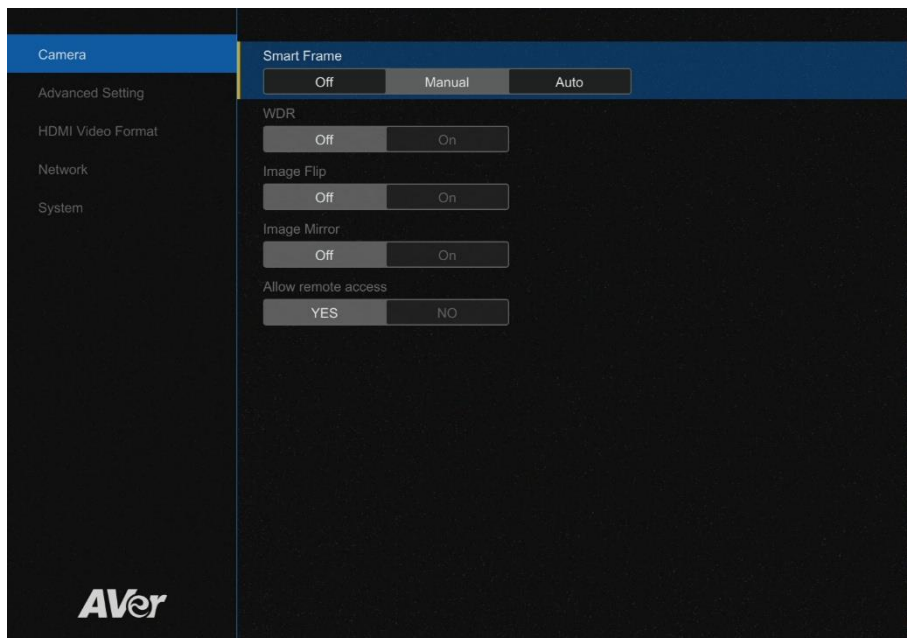
OSD セットアップ

CAM520ProAdvance の場合、HDMI 端子を使用しモニターまたはテレビに OSD メニューを使用し、カメラを設定することができます。

モニター/TV で接続した後、 リモコンのボタンを押して OSD メニューを呼び出します。

▲▼◀▶ 及び  ボタンを使用して、選択の間を移動し、選択を確認する。

現在の設定ページ/選択を終了または終了するには、 ボタンを押します。

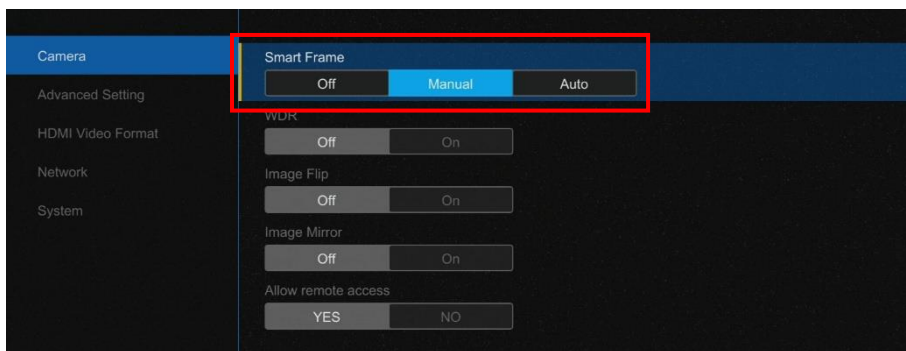


カメラ設定

スマートフレーム

すべての参加者に合わせて自動 FOV(視野)調整をネクリックします。

[カメラ] > "スマートフレーム" > "オフ" "手動"または "自動"を選択します。

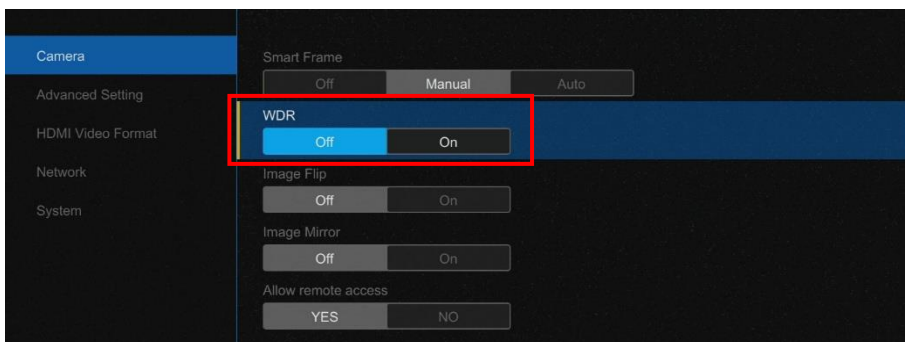


WDR

逆光の撮影環境では WDR を有効にし、映像品質の改善を行うことができます。

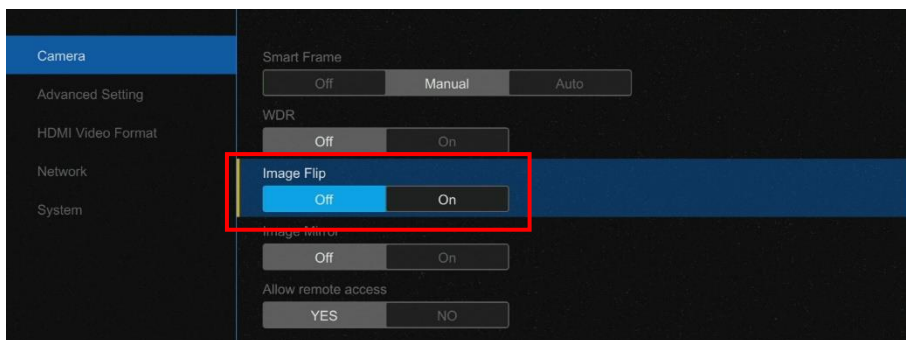
[カメラ] > "WDR" > "オフ" または "オン"を選択します。

[注]WDR がオンの間、フレーム レートは低下し、移動するオブジェクトがある場合はイメージブラーが発生します。通常の撮影環境では、WDR をオフに設定してください。



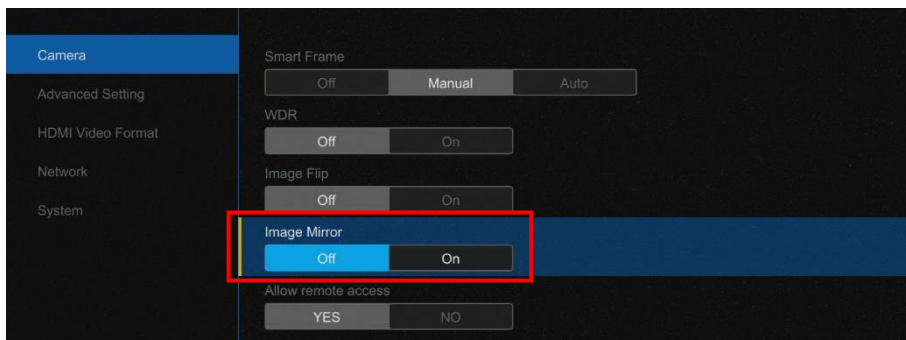
イメージフリップ(映像の上下反転)

カメラ本体を上下逆に設置する場合、“Flip”を有効にし、ビデオ映像を上下反転させます。
[カメラ] > “イメージフリップ” > “オフ” または “ オン”を選択します。



イメージミラー(映像の左右反転)

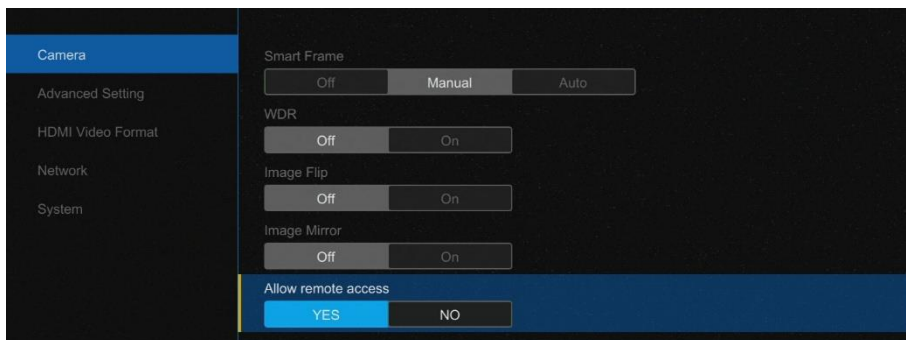
カメラ映像をミラーリングします。
[カメラ] > “イメージミラー” > “オフ” または “ オン”を選択します。



リモートアクセスの許可

Web アクセス権限を設定します。

[カメラ] > "リモートアクセスを許可する" > "はい" または "いいえ"を選択します。



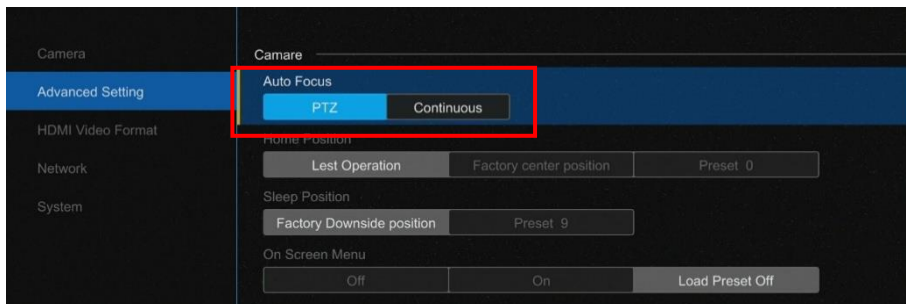
詳細設定

オートフォーカス

オートフォーカスモードを設定します。

設定画面より、[詳細設定] を選択します。**Auto Focus** > **“PTZ”** or **“Continuous”**。

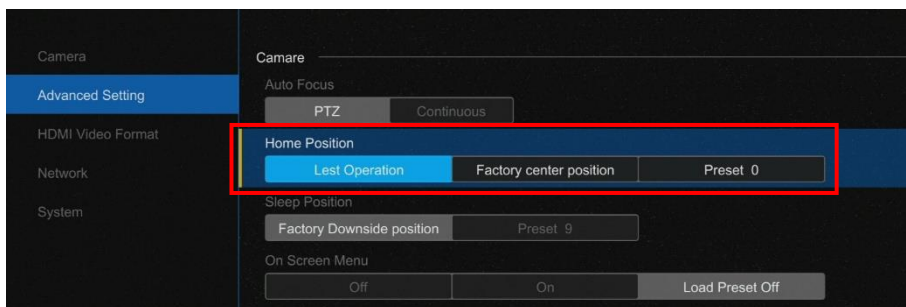
1. **PTZ:**ボタン(パン、チルト、ズーム)を操作するたびに、フォーカスの調整を行います。
2. **Continuous:**被写体が移動した際に都度、カメラがフォーカスを調整します。



ホームポジション

カメラが戻るようにホームポジションを設定します。

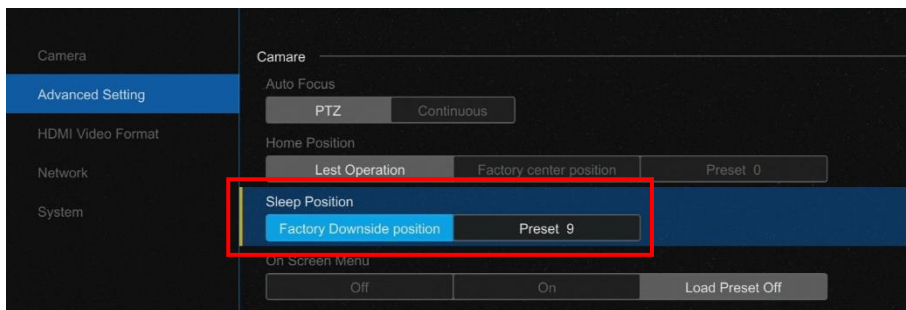
Home position > **“Last operating position”**, **“Factory central position”** or **“Preset 0”**. [詳細設定] を選択します。



スリープ時のカメラ位置

カメラが 3 分以上無操作の状態になると、スリープ状態に入ります。

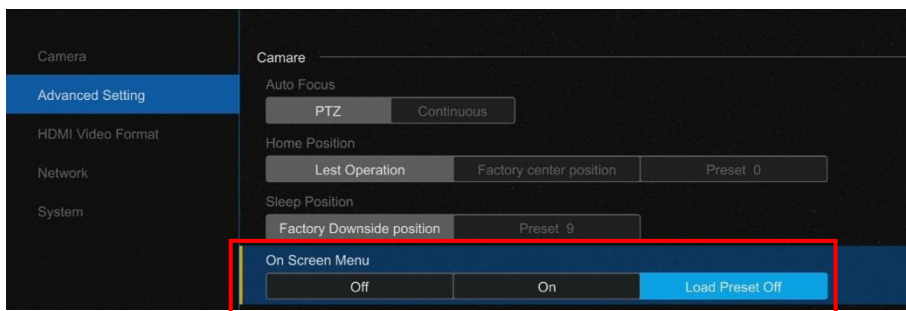
Sleep position > **Factory central position** または **“プリセット 9”** の位置を選択できます。



オンスクリーンメニュー

画面表示ステータス情報の表示・非表示を設定します。

詳細設定 > **“オンスクリーンメニュー”** > **“オフ”**, **“オン”** または **“プリセットの読み込み”** を選択します。



周波数

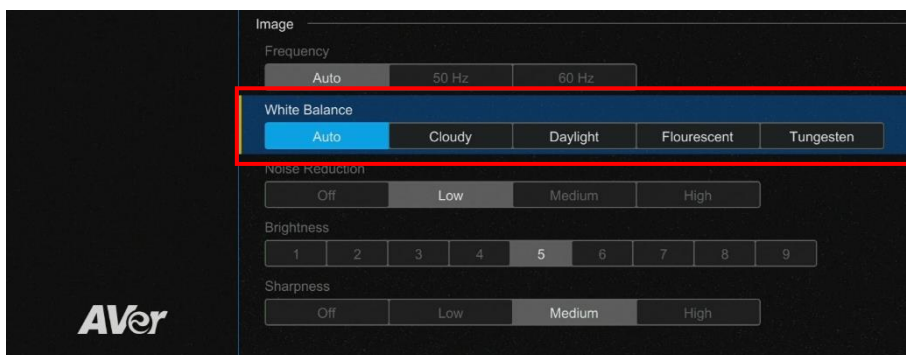
カメラの周波数を選択します。

” >”Auto” “50Hz”, or “60Hz”. [詳細設定] を選択します。



ホワイトバランス

撮影条件に合わせた色温度のホワイトバランス設定を選択します。



Noise Reduction

映像信号のノイズ低減処理の強度を設定します。

[Noise Reduction] > “Off”, “Low”, “Medium” ”High“の3段階で調整します。



明るさ

明るさの値を調整します。

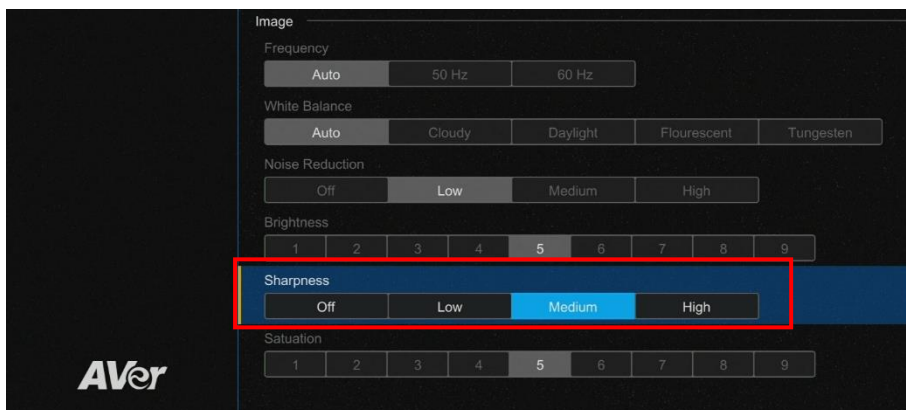
[詳細設定] を選択します。Brightness” > “1~9”の9段階で調整します。



シャープネス

シャープネスの値を調整します。

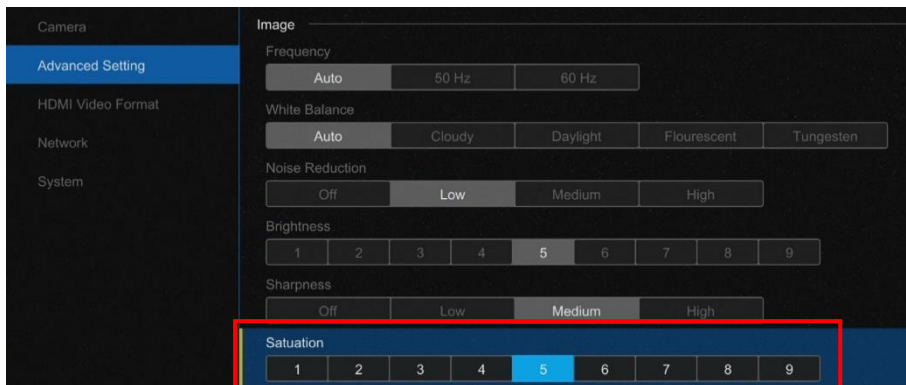
設定画面より、[詳細設定 Setting] タブの [> "イメージ" > "シャープネス">"オフ" "低" "中" "高"] から選択します。



彩度

彩度の値を調整します。

Image” > “Saturation” > “1~9” の 9 段階で調整します。



RS232 Setting

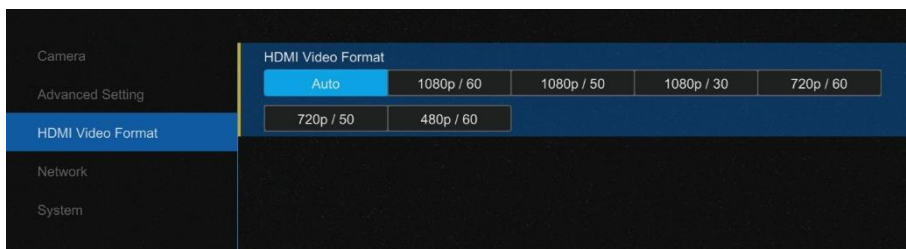
RS232 端子を使用しCAM520Pro を制御する場合は、ADDR、ボーレート、VISCA プロトコル、VISCAoverIP の各設定を実施してください。



HDMI ビデオフォーマット

HDMI 端子からの出力形式を選択します。

"HDMI ビデオフォーマット" > "自動" "1080p/60", "1080p/50" "1080p/30", "720p/60", "720p/50" または "480p/60" を選択します。



ネットワーク

DHCP


DHCP 機能を有効/無効にします。

[ネットワーク] > [DHCP] > [オフ Off]または [オン On] を選択します。



静的 IP

カメラに固定 IP アドレスを割り当てます。DHCP 機能をオフにしてください。

1. を選択します。ネットワーク] > [静的 IP]。
2. 入力欄に IP アドレス””ゲートウェイ Gateway”、”ネットマスク”、および”DNS”を入力します。
値を入力するにはリモコンの数字キーパッドを使用します。
3. 入力が完了後、 を押し、メニューを終了します。



システム設定

言語

システムの言語を選択します。

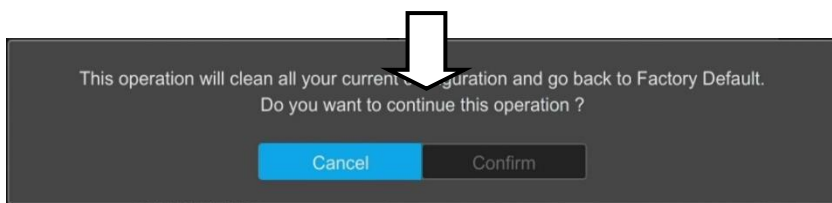
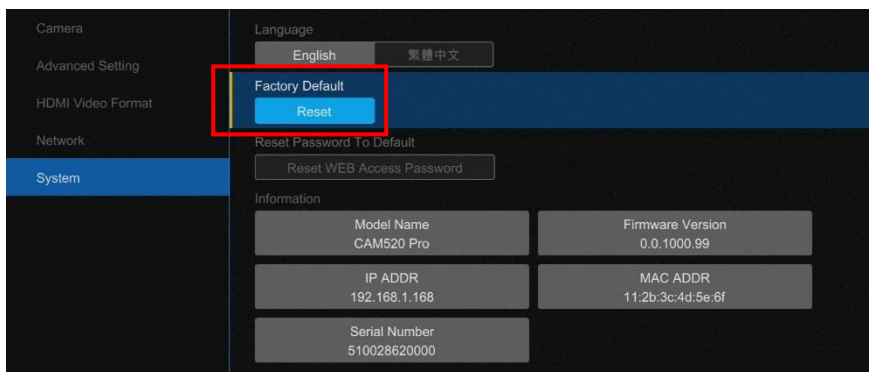
[システム” > ”言語” > ”英語”または ” 繁体字中国語” を選択します。



工場出荷時のデフォルトに戻す

カメラを工場出荷時のデフォルト設定にリセットします。

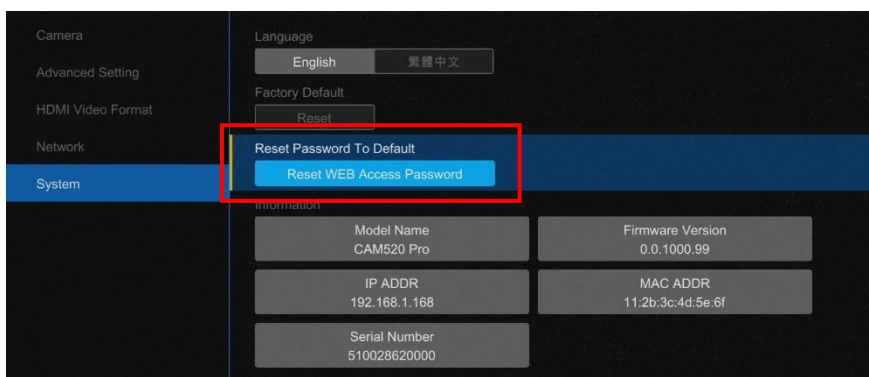
1. "System" > "Factory Default" を選択します。
2. 「Reset」を選択します。
3. [Confirm]を選択して、出荷時の既定値にリセットします。



パスワードの変更

パスワードをデフォルトにリセットします。デフォルトのパスワードは "aver4321" です。

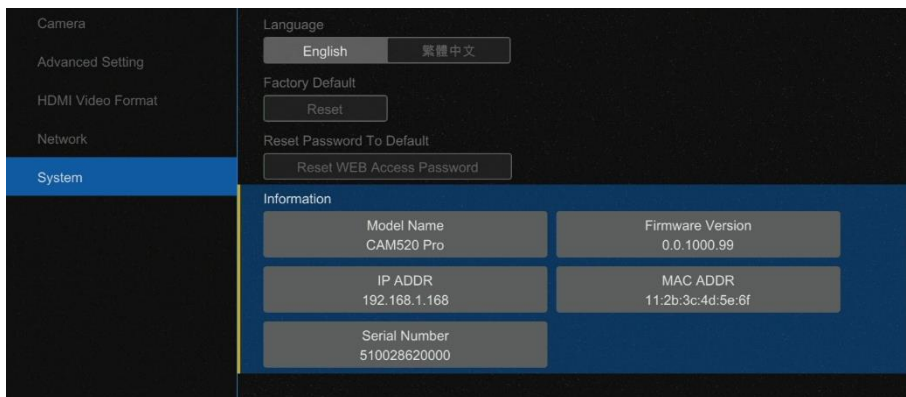
[システム] > "WEB アクセスパスワードのリセット" を選択します。



情報

”モデル名”、”ファームウェアバージョン”、”シリアル番号”、”IP アドレス”、”MAC アドレス”、および ”時刻”の情報を表示します。

[システム] > ”情報”を選択します。



EZLive のインストール

EZLive ソフトウェアを URL からダウンロードします。<http://www.aver.com/download-center>
ダウンロード後、画面の指示に従いインストールを完了してください。

AVer EZLive を使用する

EZLive の機能は下記の通りです。

1. カメラ操作
2. 接続スピーカーの音量調節
3. 静止画の撮影
4. ビデオ録画
5. YouTube、Livehouse.in、USTREAM へのライブストリーム、など
6. カメラのズームイン・ズームアウト操作
7. PC 画面全体をスクリーンショット
8. PC 画面全体を録画する
9. ライブストリームの設定
10. ファイル管理を開いて写真やビデオファイルを取得
11. ライブストリーム設定
12. 描画ツール

